

二宮町国民健康保険
第3期データヘルス計画及び
第4期特定健康診査等実施計画

令和6年度(2024年度)～令和11年度(2029年度)

令和6年(2024年)3月
二宮町

はじめに

二宮町では、平成30年(2018年)に「データヘルス計画」を策定し、被保険者の皆さまの健康増進や健康意識の向上を図るとともに、疾病予防による医療費の適正化に向けた取り組みで、健康寿命の延伸を図るべく、保健事業を実施してまいりました。

また、平成30年(2018年)に策定した「第3期特定健康診査等実施計画」においては、主要な保健事業である特定健康診査等についての取り組みを掲げ、生活習慣病を中心とした疾病予防事業を実施してまいりました。

近年、少子高齢化の進行、医療の高度化、働き方の多様化等、国民健康保険を取り巻く環境は変化してきています。

どのような時代であっても、被保険者の皆さまの心と身体が健康でいられる、また、安心して医療を受けることができる体制づくりが保険者である二宮町には、求められています。

このたび令和5年度(2023年度)に両計画が最終年度を迎えることから、町の現状、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定し、健康で安心して暮らせるまちづくりを目指して事業を実施していきます。

最後に、本計画の策定にあたりまして、ご協力いただきました二宮町国民健康保険運営協議会委員の皆さまをはじめ、町民の皆さま、関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

令和6年(2024年)3月

二宮町長 村田 邦子

第1部 第3期データヘルス計画	1
第1章 計画策定について	2
1.計画の趣旨	2
2.計画期間	3
3.実施体制・関係機関等との連携	3
4.データ分析期間	3
第2章 地域の概況	4
1.地域の特性	4
2.人口構成	5
3.医療基礎情報	7
4.特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	8
5.平均余命と平均自立期間	11
6.介護保険の状況	13
7.死亡の状況	17
第3章 過去の取り組みの考察	19
1.各事業の達成状況	19
第4章 健康・医療情報等の分析	29
1.医療費の基礎集計	29
2.生活習慣病に関する分析	38
3.特定健康診査データによる分析	43
4.特定健診対象者の生活習慣病治療状況	45
5.ジェネリック医薬品普及率に係る分析	46
第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容	48
1.分析結果のまとめ	48
2.分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策	49
3.健康課題を解決するための個別の保健事業	51
第6章 その他	58
1.計画の評価及び見直し	58
2.計画の公表・周知	58
3.個人情報の取扱い	58
第2部 第4期特定健康診査等実施計画	59
第1章 特定健康診査等実施計画について	60
1.計画策定の趣旨	60
2.特定健康診査等実施計画の位置づけ	60
3.計画期間	60
4.データ分析期間	61

-目次-

第2章	特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価	62
	1.取り組みの実施内容	62
	2.特定健康診査の受診状況	63
	3.特定保健指導の実施状況	66
	4.質問票調査の状況	72
	5.第3期特定健康診査等実施計画の評価と考察	74
第3章	特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	75
第4章	特定健康診査等実施計画	76
	1.目標	76
	2.対象者数推計	76
	3.実施方法	78
	4.目標達成に向けての取り組み	81
第5章	その他	82
	1.計画の評価及び見直し	82
	2.計画の公表・周知	82
	3.他の健診との連携	82
	4.実施体制の確保及び実施方法の改善	82
	5.個人情報の取扱い	82
巻末資料		83
	1.用語解説集	84

第1部
第3期データヘルス計画

第1章 計画策定について

1.計画の趣旨

(1)背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「すべての健康保険組合に対し、診療報酬明細書(レセプト)等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられました。また、これを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクル(※)に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められました。

本計画は、第2期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものです。

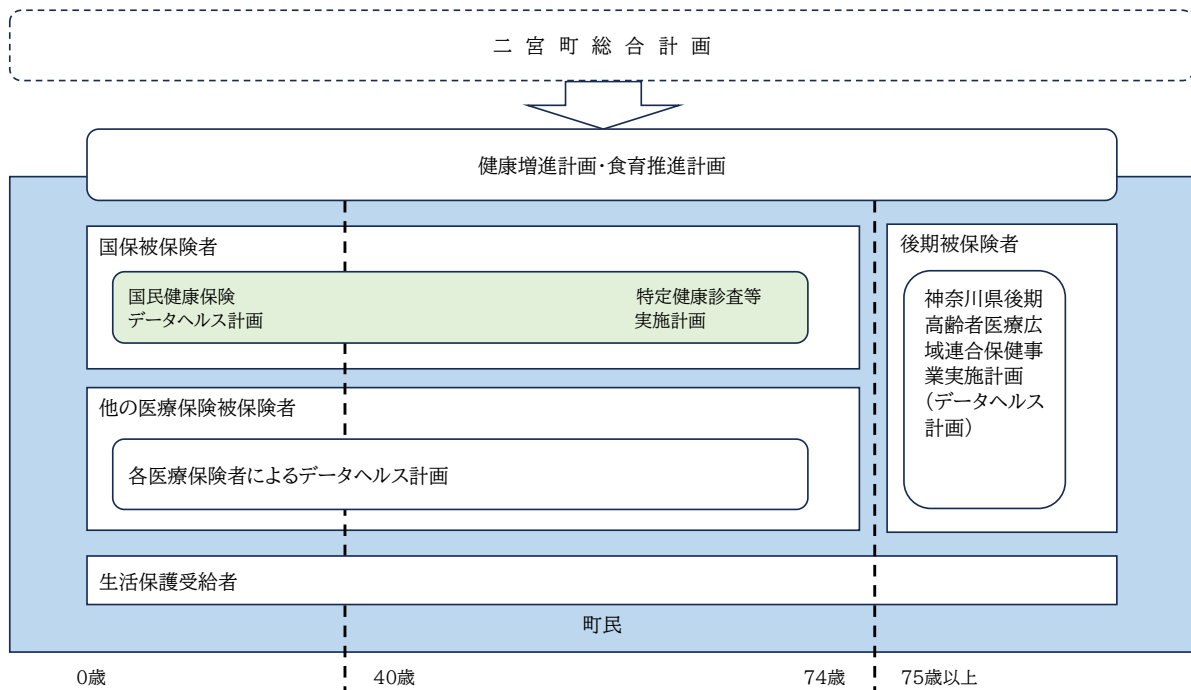
※:PDCAサイクルとは、業務管理における継続的な改善方法

Plan(計画)→Do(実行)→Check(測定・評価)→Act(対策・改善)の4段階を繰り返して業務を継続的に改善する。

(2)計画の位置づけ

本計画は、「二宮町健康増進計画・食育推進計画」の実施計画としての役割を一部担い、国民健康保険被保険者を対象に策定するものです。

また、保健事業をより効果的・効率的に推進していくため、生活習慣病予防を目的とした「特定健康診査等実施計画」と一体的に策定します。



2.計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

3.実施体制・関係機関等との連携

二宮町国民健康保険における健康課題の分析や計画の策定、保健事業の実施、評価等は、保健衛生等の関係部局や県、保健福祉事務所、国民健康保険団体連合会等の関係機関の協力を得て行います。国民健康保険には幅広い年代の被保険者が属し、その健康課題もさまざまであることから、関係部局等と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者等の健康課題も踏まえて保健事業を展開します。

また、研修等による職員の資質向上に努め、計画期間を通じてPDCAサイクルに沿った計画運用ができるよう、体制を確保します。

4.データ分析期間

■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析 令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

年度分析 平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)

令和元年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月診療分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

■健康診査データ

単年分析 令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

年度分析 平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)

令和元年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

■国保データベース(KDB)システムデータ

平成30年度～令和4年度(5年分)

■介護データ(KDB「要介護(支援)者突合状況」を使用)

単年分析 令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

年度分析 平成30年度…平成30年4月～平成31年3月分(12カ月分)

令和元年度…平成31年4月～令和2年3月分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

第2章 地域の概況

1.地域の特性

(1)地理的・社会的背景

二宮町は、神奈川県南西部に位置し、東京からの距離は約70kmです。東は大磯町、北は丹沢連峰を背に中井町、西は中村川をはさんで小田原市、南は相模湾に面しています。

町の形状はおおよそ三角形で、中央部を2級河川の葛川が流れています。南部は東西の幅3.3km、北に進むにしたがって狭くなり、南北は3.8km、総面積9.08km²です。

町の東西には東海道本線、東海道新幹線、国道1号、西湘バイパス、小田原厚木道路、南北には県道71号(秦野二宮)線が走り、それぞれ町道と連結し住民の利便に供されています。

豊かな自然と、穏やかな気候、風土があいまって、住みよい湘南の住宅地として、発展してきました。

(2)医療アクセスの状況

以下は、本町の令和4年度における、医療提供体制を示したものです。

町の診療所数(令和4年度):22

町の医師数 (令和4年度):23

医療提供体制(令和4年度)

医療項目		二宮町	県	同規模	国
千人当たり	病院数	0.0	0.2	0.3	0.3
	診療所数	3.8	4.1	3.1	4.2
	病床数	0.0	44.3	56.1	61.1
	医師数	4.0	12.8	11.1	13.8

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※県は神奈川県を指す。以下すべての表において同様である。

※同規模とは、人口が20,000人以上の全国町村の平均値

※令和5年3月末時点

2.人口構成

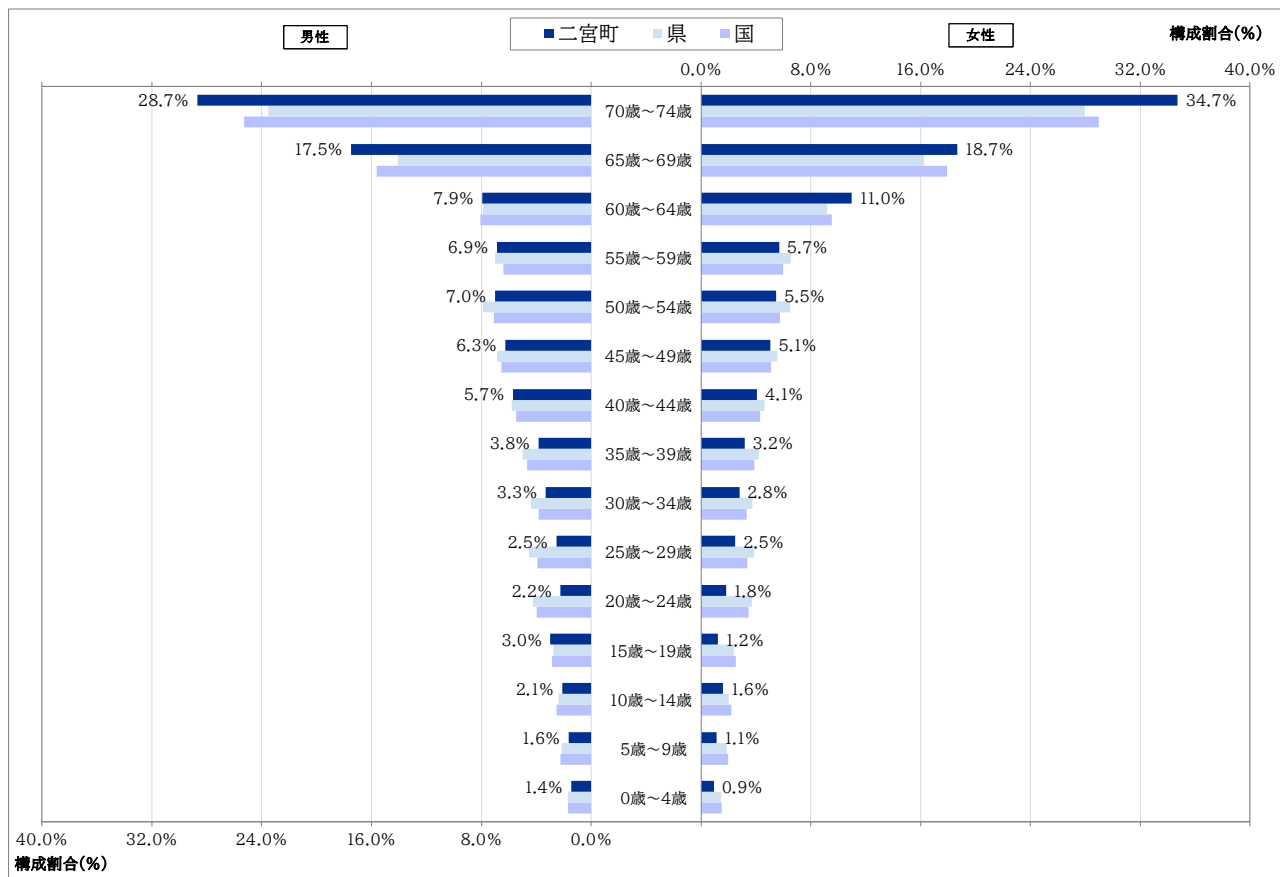
以下は、本町の令和4年度における人口構成概要を示したものです。高齢化率(65歳以上)は35.3%であり、県との比較で1.4倍、同規模との比較で1.2倍となっています。また、国民健康保険被保険者数は5,770人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は21.1%です。国民健康保険被保険者平均年齢は56.7歳です。

人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)
二宮町	27,397	35.3%	5,770	21.1%	56.7
県	9,023,259	25.6%	1,671,223	18.5%	52.6
同規模	28,190	29.1%	6,005	20.6%	54.2
国	123,214,261	28.7%	24,660,500	20.0%	53.4

出典:二宮町は、国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」
 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
 ※令和5年3月末時点

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」
 ※令和5年3月末時点
 ※割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものです。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位:人

年齢階層	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	99	48	51	103	50	53	88	47	41
5歳～9歳	123	67	56	105	57	48	93	47	46
10歳～14歳	133	77	56	122	69	53	130	73	57
15歳～19歳	162	77	85	164	94	70	141	88	53
20歳～24歳	170	95	75	149	79	70	145	76	69
25歳～29歳	171	83	88	151	82	69	165	90	75
30歳～34歳	182	89	93	184	85	99	178	80	98
35歳～39歳	304	162	142	247	137	110	214	121	93
40歳～44歳	338	168	170	336	174	162	322	171	151
45歳～49歳	386	210	176	379	192	187	361	188	173
50歳～54歳	342	183	159	331	183	148	366	197	169
55歳～59歳	352	148	204	337	154	183	362	176	186
60歳～64歳	651	255	396	637	246	391	589	223	366
65歳～69歳	1,491	645	846	1,317	575	742	1,205	514	691
70歳～74歳	1,880	823	1,057	1,932	846	1,086	1,974	863	1,111
合計	6,784	3,130	3,654	6,494	3,023	3,471	6,333	2,954	3,379
年齢階層	令和3年度			令和4年度					
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性			
0歳～4歳	81	42	39	68	39	29			
5歳～9歳	96	47	49	79	44	35			
10歳～14歳	118	71	47	107	57	50			
15歳～19歳	114	76	38	118	80	38			
20歳～24歳	136	70	66	116	60	56			
25歳～29歳	144	76	68	145	68	77			
30歳～34歳	174	83	91	175	89	86			
35歳～39歳	191	94	97	201	103	98			
40歳～44歳	312	180	132	280	154	126			
45歳～49歳	340	171	169	325	169	156			
50歳～54歳	379	207	172	358	189	169			
55歳～59歳	354	172	182	360	185	175			
60歳～64歳	565	224	341	552	214	338			
65歳～69歳	1,120	494	626	1,045	471	574			
70歳～74歳	1,985	836	1,149	1,841	773	1,068			
合計	6,109	2,843	3,266	5,770	2,695	3,075			

出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

※各年度3月末時点

3.医療基礎情報

以下は、本町の令和4年度における、医療基礎情報を示したものです。

一人当たりの年間受診件数、一件当たり日数、一日当たり医療費は、医療費を分析していくうえでの重要な指標となります。

医療基礎情報(令和4年度)

医療項目	二宮町	県	同規模	国
一人当たり年間受診件数※ ¹	8.78件	8.52件	8.82件	8.74件
一件当たり医療費(円)	38,490	38,770	39,620	39,870
外来				
外来費用の割合	65.4%	63.0%	59.6%	59.9%
一人当たり年間外来受診件数※ ¹	8.59件	8.33件	8.59件	8.51件
一件当たり医療費(円)	25,720	24,960	24,230	24,520
一人当たり医療費(円)※ ²	18,410	17,330	17,350	17,400
一日当たり医療費(円)	17,610	16,590	16,390	16,500
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合	34.6%	37.0%	40.4%	40.1%
一人当たり年間入院件数※ ¹	0.19件	0.19件	0.23件	0.23件
一件当たり医療費(円)	608,710	650,570	613,590	619,090
一人当たり医療費(円)※ ²	9,760	10,190	11,780	11,650
一日当たり医療費(円)	38,100	43,800	38,290	38,730
一件当たり在院日数	16.0	14.9	16.0	16.0

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※1一人当たり年間受診件数…一人あたりの年間受診件数＝レセプト件数÷被保険者数

※2一人当たり医療費…1カ月分相当

※令和5年3月末時点

4. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査

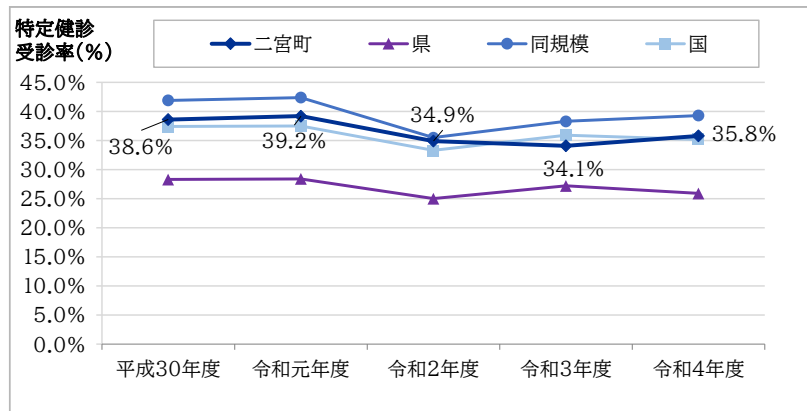
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。令和2年度、3年度においては、新型コロナウイルスの影響により受診率の減少がありました。令和4年度においては、受診率が回復傾向にあります。

年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	38.6%	39.2%	34.9%	34.1%	35.8%
県	28.3%	28.4%	25.0%	27.2%	25.9%
同規模	41.9%	42.4%	35.5%	38.3%	39.3%
国	37.4%	37.5%	33.3%	35.9%	35.2%

出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

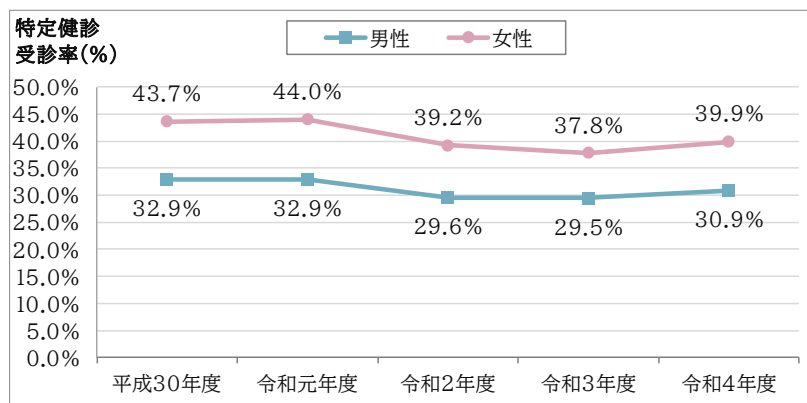
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率30.9%は平成30年度32.9%より2.0ポイント減少しており、女性の令和4年度受診率39.9%は平成30年度43.7%より3.8ポイント減少しています。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

※各年度3月末時点

(2)特定保健指導

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものです。令和2年度、3年度においては、新型コロナウイルスの影響により、実施率の減少がありました。令和4年度においては、実施率が回復傾向にあります。

年度別 特定保健指導実施率

区分	特定保健指導実施率				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	37.7%	40.3%	23.0%	20.2%	26.2%
県	7.3%	7.1%	8.7%	8.4%	9.1%
同規模	37.5%	39.6%	36.9%	37.7%	41.1%
国	25.8%	26.3%	25.9%	25.9%	27.0%

出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	動機付け支援対象者数割合				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	8.0%	6.8%	7.0%	6.9%	7.3%
県	9.1%	8.9%	9.0%	9.1%	8.6%
同規模	9.6%	9.5%	9.5%	9.4%	9.1%
国	9.0%	8.9%	9.0%	8.9%	8.6%

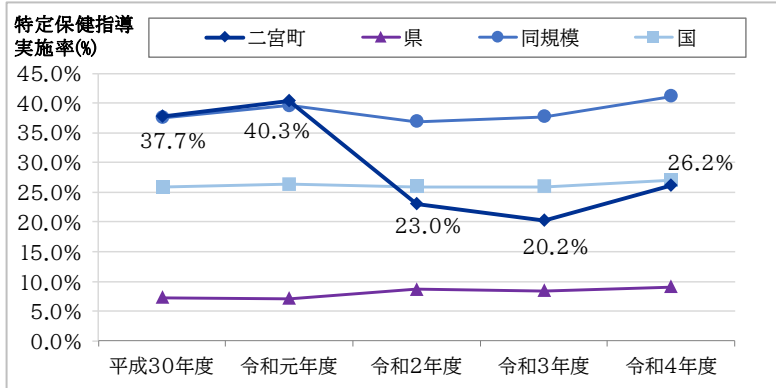
※動機付け支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する対象者割合

年度別 積極的支援対象者数割合

区分	積極的支援対象者数割合				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%
県	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.5%
同規模	2.8%	2.8%	2.6%	2.8%	2.8%
国	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	2.7%

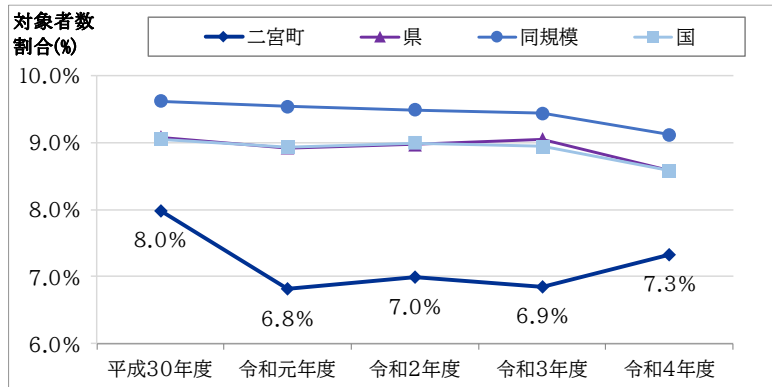
※積極的支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する対象者割合

年度別 特定保健指導実施率

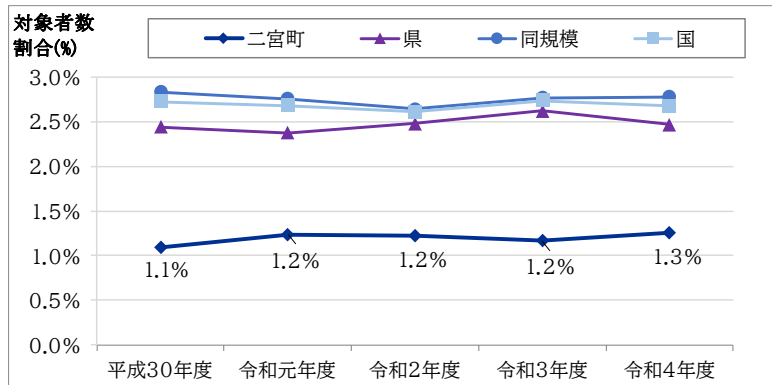


出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



年度別 積極的支援対象者数割合

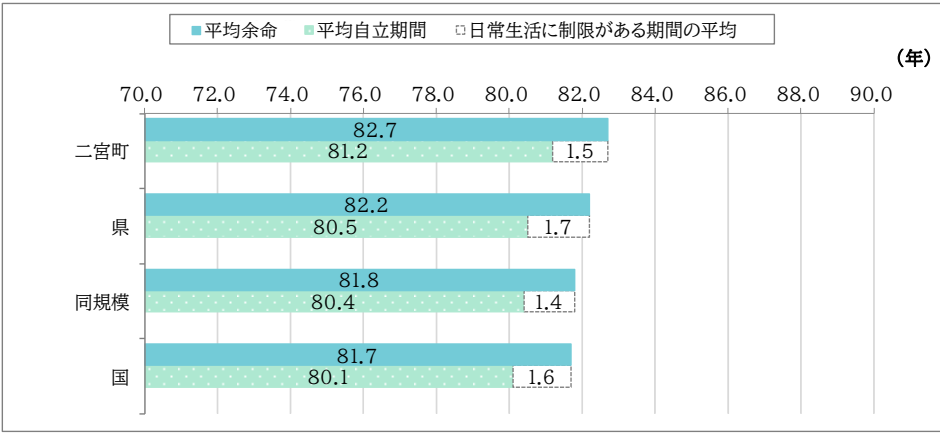


5.平均余命と平均自立期間

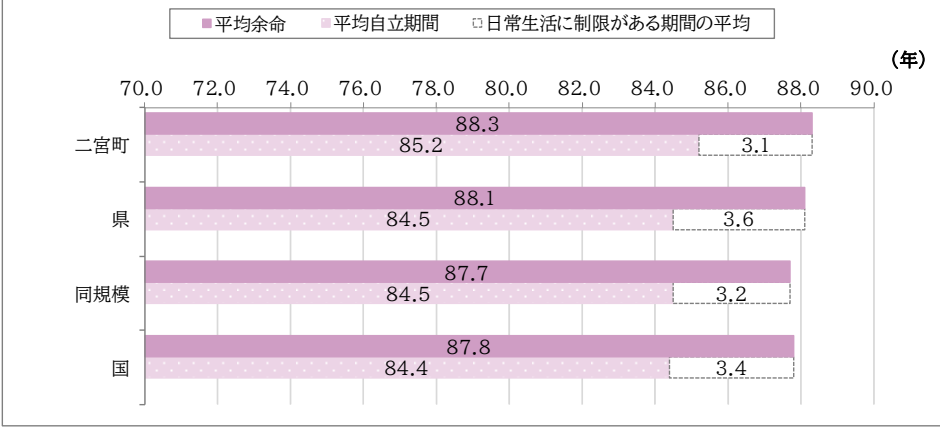
以下は、令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものです。平均余命は、ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値を指し、ここでは0歳時点の平均余命を示しています。また、平均自立期間は、要介護2以上になるまでの期間を「日常生活動作が自立している期間」としてその平均を算出したもので、健康寿命の指標の一つです。平均余命と平均自立期間の差は、日常生活に制限がある期間を意味しています。

本町の男性の平均余命は82.7年、平均自立期間は81.2年です。日常生活に制限がある期間の平均は1.5年で、国の1.6年よりも短い傾向にあります。本町の女性の平均余命は88.3年、平均自立期間は85.2年です。日常生活に制限がある期間の平均は3.1年で、国の3.4年よりも短い傾向にあります。

(男性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)

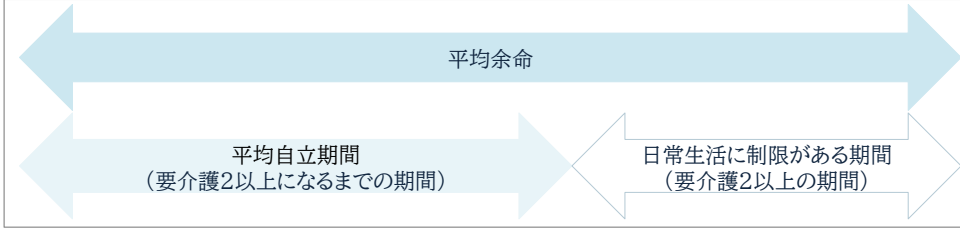


(女性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※令和5年3月末時点

【参考】平均余命と平均自立期間について



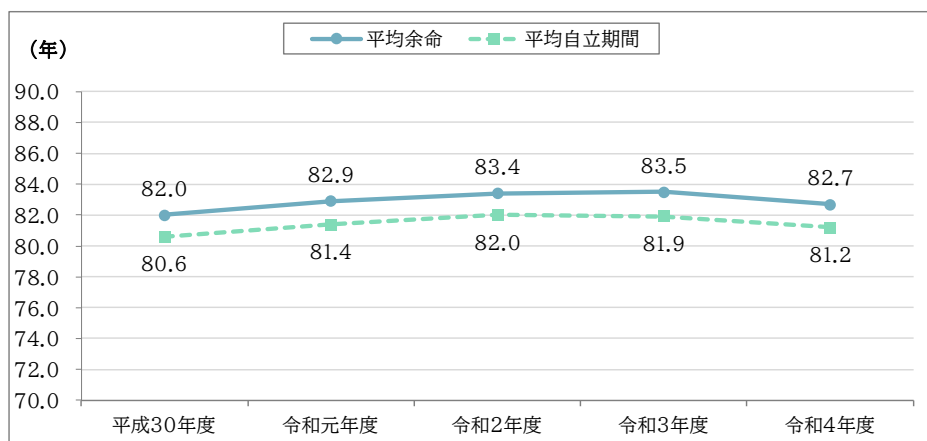
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものです。男性における令和4年度の平均自立期間81.2年は平成30年度80.6年から0.6年延伸しています。女性における令和4年度の平均自立期間85.2年は平成30年度84.9年から0.3年延伸しています。

年度・男女別 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均

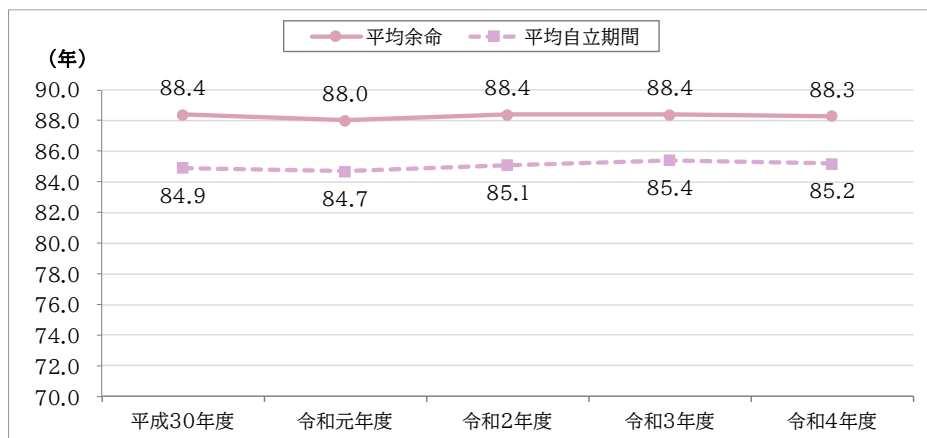
年度	男性			女性		
	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)
平成30年度	82.0	80.6	1.4	88.4	84.9	3.5
令和元年度	82.9	81.4	1.5	88.0	84.7	3.3
令和2年度	83.4	82.0	1.4	88.4	85.1	3.3
令和3年度	83.5	81.9	1.6	88.4	85.4	3.0
令和4年度	82.7	81.2	1.5	88.3	85.2	3.1

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※各年度3月末時点

(男性)年度別 平均余命と平均自立期間



(女性)年度別 平均余命と平均自立期間



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※各年度3月末時点

6.介護保険の状況

(1)要介護(支援)認定状況

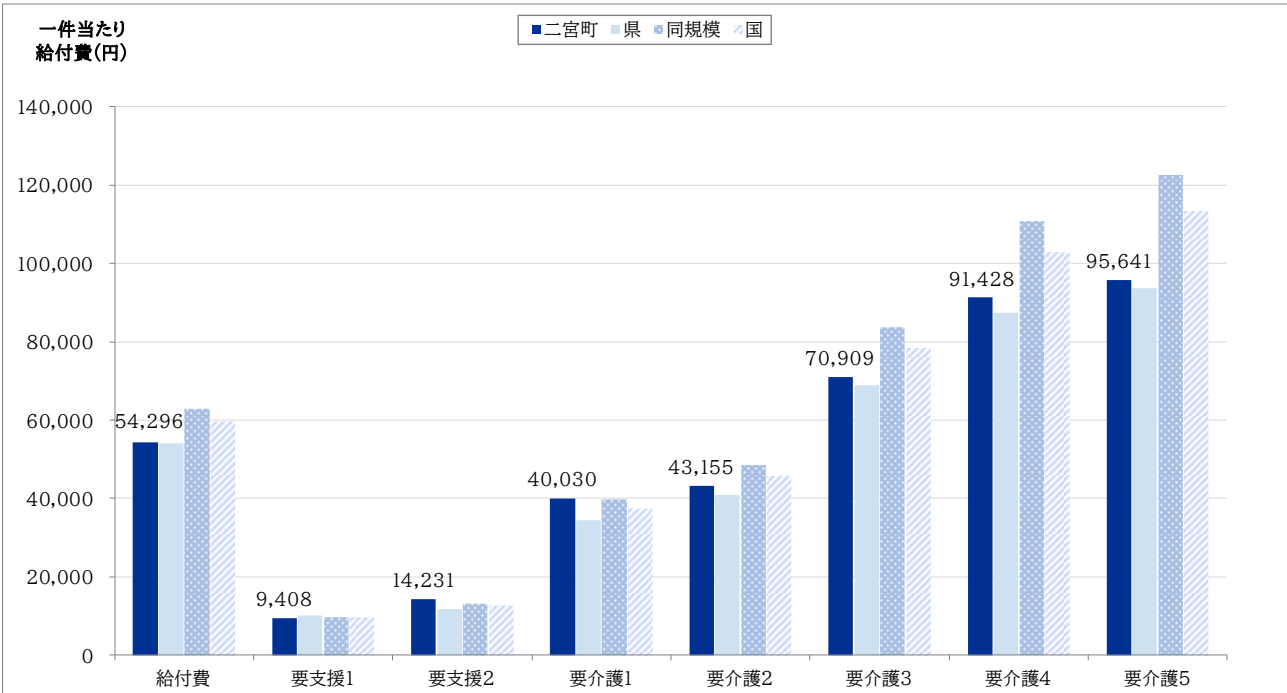
以下は、本町の令和4年度における、要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況を示したものです。

要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況(令和4年度)

区分	二宮町	県	同規模	国
認定率	18.2%	19.1%	17.0%	19.4%
認定者数(人)	1,806	456,207	216,471	6,880,137
第1号(65歳以上)	1,765	443,003	211,456	6,724,030
第2号(40~64歳)	41	13,204	5,015	156,107
一件当たり給付費(円)				
給付費	54,296	54,139	63,000	59,662
要支援1	9,408	10,025	9,691	9,568
要支援2	14,231	11,759	13,149	12,723
要介護1	40,030	34,346	39,670	37,331
要介護2	43,155	40,818	48,470	45,837
要介護3	70,909	68,920	83,616	78,504
要介護4	91,428	87,418	110,877	103,025
要介護5	95,641	93,562	122,572	113,314

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※同規模とは人口20,000人以上の全国町村の合計値
 ※令和5年3月末時点

要介護度別 一件当たり介護給付費(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※令和5年3月末時点

以下は、平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定率及び認定者数を年度別に示したものです。令和4年度認定率18.2%は平成30年度16.1%より2.1ポイント増加しており、令和4年度の認定者数1,806人は平成30年度1,531人より275人増加しています。

年度別 要介護(支援)認定率及び認定者数

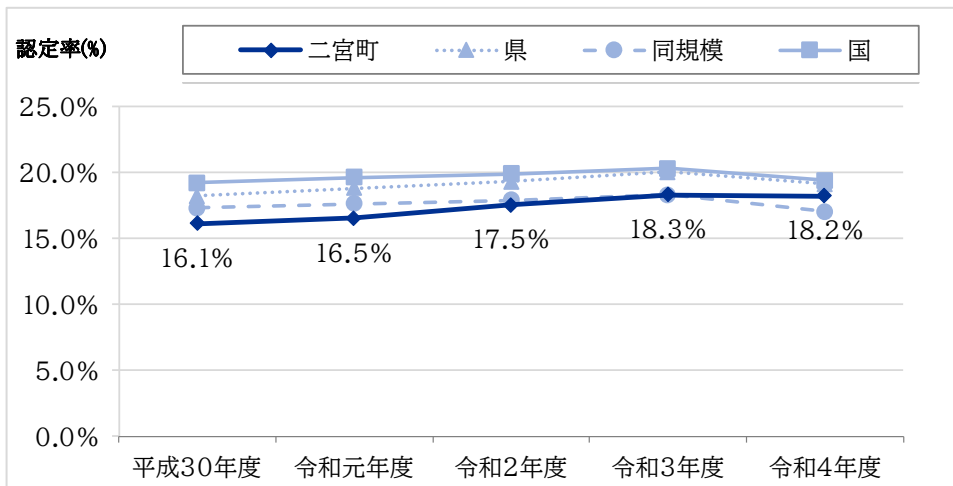
区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
二宮町	平成30年度	16.1%	1,531	1,506	25
	令和元年度	16.5%	1,591	1,559	32
	令和2年度	17.5%	1,703	1,670	33
	令和3年度	18.3%	1,754	1,719	35
	令和4年度	18.2%	1,806	1,765	41
県	平成30年度	18.2%	409,585	397,917	11,668
	令和元年度	18.8%	422,492	410,601	11,891
	令和2年度	19.3%	436,792	424,250	12,542
	令和3年度	20.0%	447,715	434,779	12,936
	令和4年度	19.1%	456,207	443,003	13,204
同規模	平成30年度	17.3%	222,923	217,534	5,389
	令和元年度	17.6%	221,365	216,123	5,242
	令和2年度	17.9%	218,863	213,718	5,145
	令和3年度	18.3%	218,569	213,506	5,063
	令和4年度	17.0%	216,471	211,456	5,015
国	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	令和元年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813
	令和2年度	19.9%	6,750,178	6,595,095	155,083
	令和3年度	20.3%	6,837,233	6,681,504	155,729
	令和4年度	19.4%	6,880,137	6,724,030	156,107

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※認定率… 認定者数 ÷ 被保険者数 × 100

※各年度3月末時点

年度別 要介護(支援)認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※各年度3月末時点

(2)要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

以下は、本町の令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を示したものです。疾病別の有病者数を合計すると5,147人となり、これを認定者数の実人数で除すと2.8となることから、認定者は平均2.8疾病を有していることがわかります。

要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(令和4年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	二宮町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	1,806		456,207		216,471		6,880,137	
糖尿病	実人数(人)	377	111,479	6	54,717	6	1,712,613	6
	有病率	20.4%	23.9%	6	24.5%	6	24.3%	6
高血圧症	実人数(人)	927	241,321	2	117,224	2	3,744,672	3
	有病率	50.2%	51.8%	2	52.9%	2	53.3%	3
脂質異常症	実人数(人)	607	156,034	5	70,399	5	2,308,216	5
	有病率	33.4%	33.3%	5	31.5%	5	32.6%	5
心臓病	実人数(人)	1,045	271,003	1	132,327	1	4,224,628	1
	有病率	57.1%	58.3%	1	59.8%	1	60.3%	1
脳疾患	実人数(人)	369	96,861	7	50,122	7	1,568,292	7
	有病率	20.0%	21.1%	7	22.9%	7	22.6%	7
悪性新生物	実人数(人)	223	56,482	8	24,937	8	837,410	8
	有病率	11.3%	12.0%	8	11.1%	8	11.8%	8
筋・骨格	実人数(人)	970	238,420	3	116,014	3	3,748,372	2
	有病率	52.1%	51.2%	3	52.5%	3	53.4%	2
精神	実人数(人)	629	163,868	4	80,119	4	2,569,149	4
	有病率	33.5%	35.5%	4	36.4%	4	36.8%	4

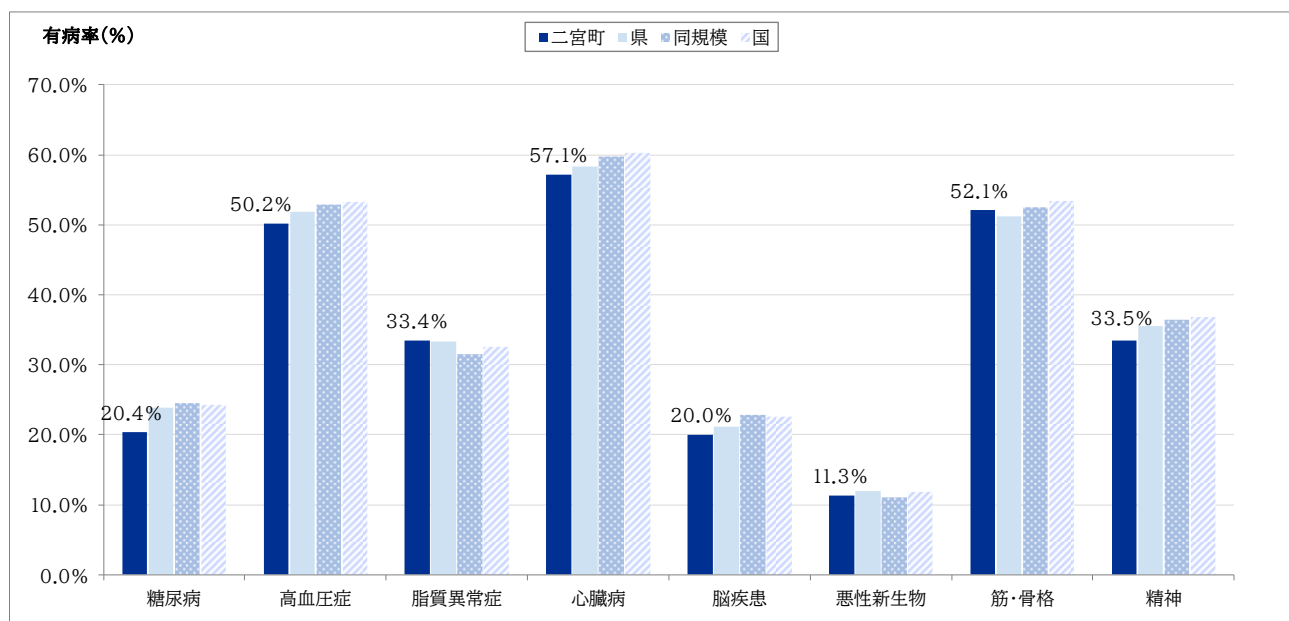
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※同規模とは人口20,000人以上の全国町村の合計値

※有病率=各疾病有病者数の月平均値/認定者数の月平均値×100

※令和5年3月末時点

要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※令和5年3月末時点

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を年度別に示したものです。令和4年度の認定者が有している平均疾病数2.8疾病は平成30年度からほぼ横ばいとなっています。

年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

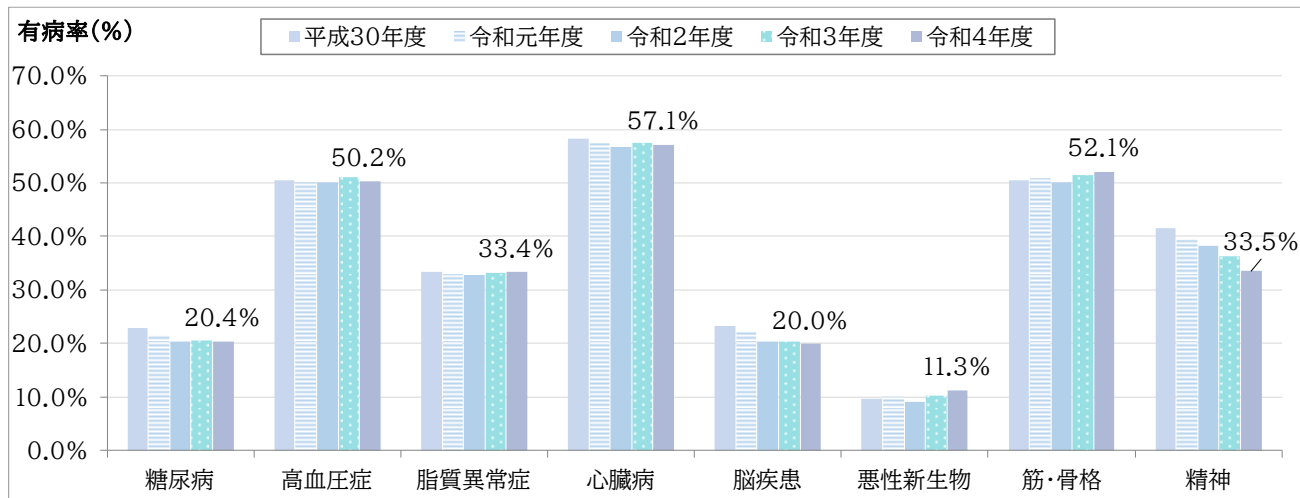
区分	二宮町									
	平成30年度	順位	令和元年度	順位	令和2年度	順位	令和3年度	順位	令和4年度	順位
認定者数(人)	1,531		1,591		1,703		1,754		1,806	
糖尿病	実人数(人)	344	331	360	363	377				
	有病率	22.8%	21.6%	20.3%	20.6%	20.4%				
高血圧症	実人数(人)	756	802	882	905	927				
	有病率	50.5%	50.1%	50.0%	51.0%	50.2%				
脂質異常症	実人数(人)	489	511	581	598	607				
	有病率	33.4%	33.1%	32.8%	33.2%	33.4%				
心臓病	実人数(人)	863	911	996	1,011	1,045				
	有病率	58.3%	57.5%	56.8%	57.5%	57.1%				
脳疾患	実人数(人)	346	335	341	369	369				
	有病率	23.2%	22.3%	20.3%	20.3%	20.0%				
悪性新生物	実人数(人)	162	164	172	191	223				
	有病率	9.7%	10.1%	9.1%	10.2%	11.3%				
筋・骨格	実人数(人)	764	806	874	931	970				
	有病率	50.5%	50.8%	50.1%	51.4%	52.1%				
精神	実人数(人)	629	629	665	626	629				
	有病率	41.6%	39.4%	38.3%	36.3%	33.5%				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※各年度3月末時点

※有病率＝各疾病有病者数の月平均値／認定者数の月平均値×100

年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※各年度3月末時点

7.死亡の状況

以下は、本町の令和4年度における、死亡の状況を示したものです。

標準化死亡比とは、国の平均を100とし、標準化死亡比が100以上の場合は、国より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は、死亡率が低いと判断されます。

男女別 標準化死亡比(令和4年度)

	二宮町	県	同規模	国
男性	90.2	95.2	98.7	100.0
女性	96.8	97.0	99.7	100.0

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※令和5年3月時点

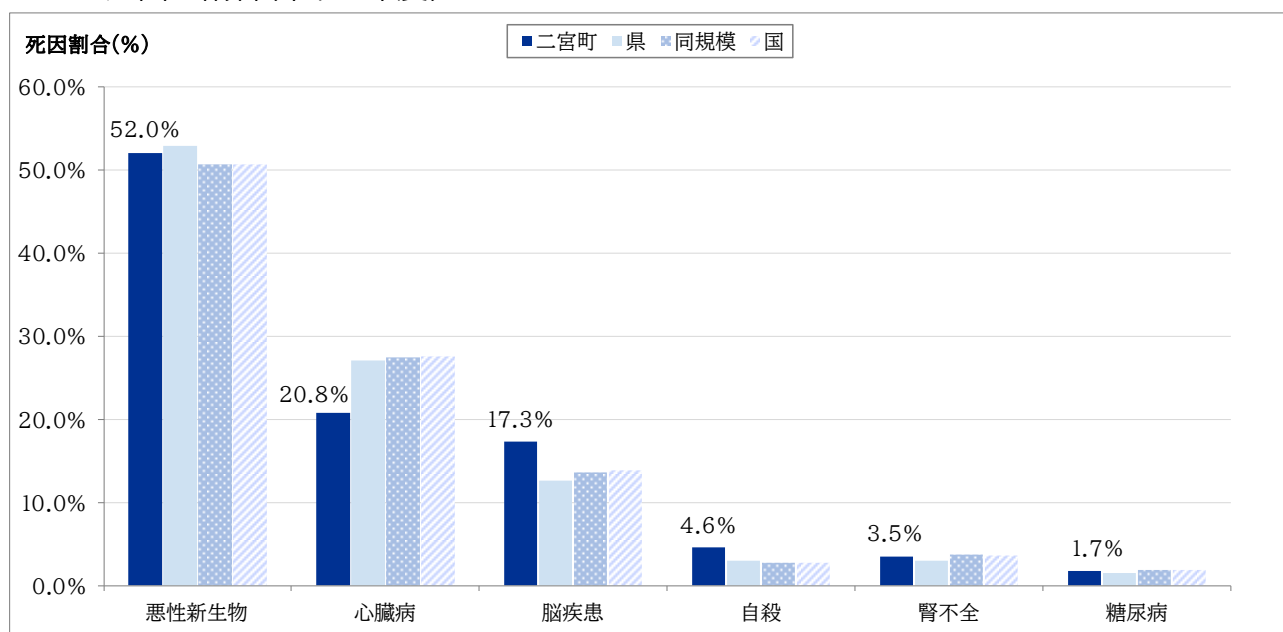
主たる死因の状況(令和4年度)

疾病項目	二宮町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	90	52.0%	52.9%	50.6%	50.6%
心臓病	36	20.8%	27.0%	27.4%	27.5%
脳疾患	30	17.3%	12.6%	13.6%	13.8%
自殺	8	4.6%	3.0%	2.7%	2.7%
腎不全	6	3.5%	3.0%	3.7%	3.6%
糖尿病	3	1.7%	1.5%	1.9%	1.9%
合計	173				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※令和5年3月時点

主たる死因の割合(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※令和5年3月時点

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、死亡の状況を年度別に示したものです。

年度・男女別 標準化死亡比

区分	男性					女性				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	88.1	88.1	88.1	90.2	90.2	99.8	99.8	99.8	96.8	96.8
県	94.9	94.9	94.9	95.2	95.2	96.6	96.6	96.6	97.0	97.0
同規模	98.7	98.4	98.5	98.9	98.7	98.9	98.9	99.1	99.8	99.7
国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
※各年度3月末時点

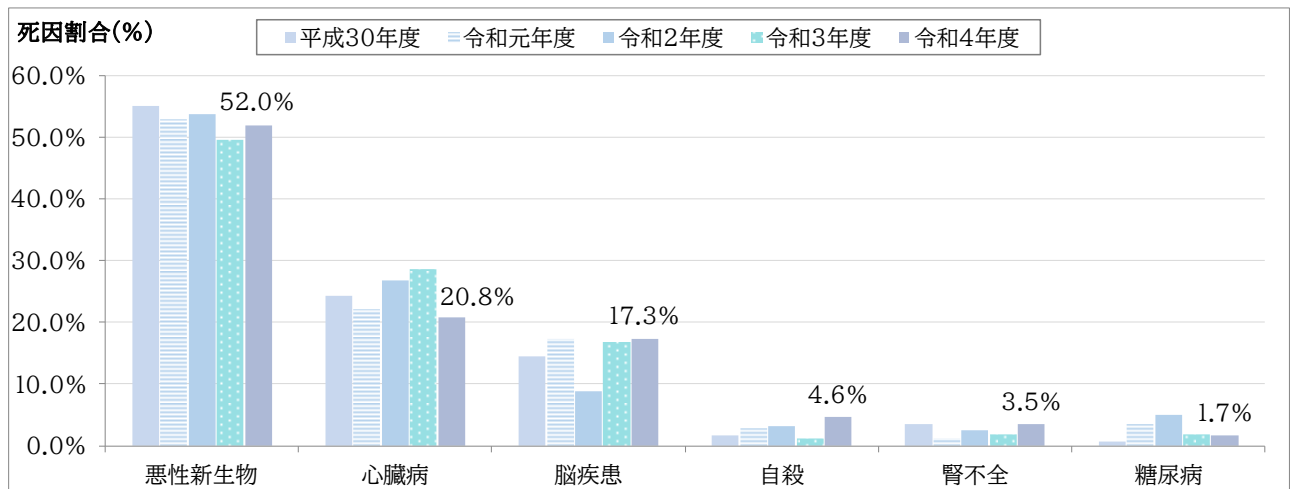
主たる死因の状況について、令和4年度を平成30年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数90人は平成30年度95人より5人減少しており、心臓病を死因とする人数36人は平成30年度42人より6人減少しています。また、脳疾患を死因とする人数30人は平成30年度25人より5人増加しています。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	二宮町									
	人数(人)					割合(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	95	91	86	83	90	55.2%	52.9%	53.8%	49.7%	52.0%
心臓病	42	38	43	48	36	24.4%	22.1%	26.9%	28.7%	20.8%
脳疾患	25	30	14	28	30	14.5%	17.4%	8.8%	16.8%	17.3%
自殺	3	5	5	2	8	1.7%	2.9%	3.1%	1.2%	4.6%
腎不全	6	2	4	3	6	3.5%	1.2%	2.5%	1.8%	3.5%
糖尿病	1	6	8	3	3	0.6%	3.5%	5.0%	1.8%	1.7%
合計	172	172	160	167	173					

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
※各年度3月末時点

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
※各年度3月末時点

第3章 過去の取り組みの考察

1.各事業の達成状況

以下は、第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を示したものです。

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
特定健康診査受診率向上事業	平成30年度～令和5年度	特定健康診査受診率の向上を図ります。	特定健康診査の受診勧奨 ・特定健康診査期間前に、対象者に受診券を個別通知 ・受診率の低い40～60代の未受診者に対し、通知や電話による受診勧奨 等
特定保健指導未利用者対策事業	平成30年度～令和5年度	特定保健指導利用率・実施率の向上を図ります。	特定保健指導対象者への利用勧奨 ・対象者への個別通知 ・通知後、利用希望のなかった者に対する電話での利用勧奨 等
重症化予防事業	平成30年度～令和5年度	糖尿病の重症化による合併症の予防を図ります。	重症化予防事業の対象者への保健指導等 ・特定健康診査において、血糖検査が保健指導判定値以上で糖尿病治療薬を未服用者への受診勧奨、保健指導、集団指導を実施 ・HbA1c6.5%以上の者には積極的に受診勧奨、保健指導、集団指導の利用勧奨
保健普及事業 (ジェネリック医薬品 (後発医薬品) 差額通知事業)	平成30年度～令和5年度	ジェネリック医薬品の利用促進を図ります。	ジェネリック医薬品の利用促進 ・年2回(7月、2月)差額通知を対象者に送付 ・6月の保険税決定通知書を郵送する際に、ジェネリック医薬品の希望カードを記載した国民健康保険のしおりを同封し、周知 等

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 平成28年度	目標値 令和5年度	達成状況 令和4年度	評価
受診対象者に受診券等を個別通知する割合	100%(5,463人)	100%	100%(4,210人)	3
特定健康診査受診率	37.2%(2,030人)	43.0%	35.8%(1,507人)	
特定保健指導対象者に対して利用勧奨する割合	100%(119人)	100%	100%(133人)	3
特定保健指導実施率	59.3%	60.0%	26.2%	
対象者に働きかける割合 ①HbA1c6.5%以上で、医療機関未受診者 ②HbA1c6.0%以上 6.5%未満で、医療機関未受診者	①100%(34人) ②100%(117人)	①100% ②100%	①100%(100人) ②100%(173人)	3
保健指導利用率	①26.5% ②20.5%	①30.0% ②25.0%	①12.3% ②14.0%	
対象者に対する勧奨通知割合	100%(187件)	100%(250件)	100%(142件)	4
使用率	58.7%	80.0%	78.4%	

特定健康診査受診率向上事業

事業目的	特定健康診査受診率の向上を図ります。												
対象者	特定健康診査受診対象者												
事業実施年度	平成30年度～令和5年度												
実施内容	特定健康診査の受診勧奨 ・特定健康診査実施期間前に、対象者に受診券を個別通知 ・当該年度実施期間内において一定期間経過後に、受診率の低い40～60代の未受診者に対し、通知や電話による受診勧奨 ・広報紙による受診勧奨 ・特定健康診査実施期間 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>令和元年度まで</td> <td>7月～10月</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>9月～1月</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>6月～11月</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>6月～10月</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>6月～10月</td> </tr> </table>			令和元年度まで	7月～10月	令和2年度	9月～1月	令和3年度	6月～11月	令和4年度	6月～10月	令和5年度	6月～10月
令和元年度まで	7月～10月												
令和2年度	9月～1月												
令和3年度	6月～11月												
令和4年度	6月～10月												
令和5年度	6月～10月												

【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット: 受診対象者に受診券等を個別通知する割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%(5,463人)	100%(4,997人)	100%(4,797人)	100%(4,658人)	100%(4,532人)	100%(4,210人)	100%(4,395人)

アウトカム: 特定健康診査受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	43.0%	38.0%	39.0%	40.0%	41.0%	42.0%	43.0%
達成状況	37.2%(2,030人)	38.6%(1,931人)	39.2%(1,861人)	34.9%(1,627人)	34.1%(1,546人)	35.8%(1,507人)	32.9%(1,373人)

※令和5年度については、令和6年1月22日時点

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

受診率の低い世代に対し健康意識を高めるため、新規受診、再受診、継続受診の促進を図った。
新型コロナウイルスの影響で令和3年度から、特定健康診査期間終了後に受診勧奨のハガキを送付し、来年度に向けての受診勧奨をしている。年度内での受診にはつながらないが、次年度の受診勧奨を行うことで、健康意識向上を図った。
対象者全員に受診券及び案内文を送付する体制は、健診を視覚的に認識できる機会となった。
特定健康診査の自己負担額については、課税世帯と非課税世帯で差額があったが、令和3年度より非課税世帯の金額に統一し、課税世帯の受診促進を図った。
実施期間については、新型コロナウイルスの影響に左右された時期もあるが、従来7月から開始であった特定健康診査実施期間を、令和3年度より、6月からとし1カ月延長することができたことは、受診機会の確保につながった。
なお、令和3年度においては、新型コロナウイルスによる受診率低迷により、終了月を11月までとし、1カ月延長した。

事業全体の評価	5:目標達成	考察 (成功・未達要因)	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2、3年度は受診率が減少したが、令和4年度は受診控えから戻りつつあり、受診率が上がったものの目標には届かなかった。
	4:改善している		
	3:横ばい	今後の方向性	特に受診率の低い若い世代への受診勧奨方法、過去の受診履歴等に応じた効果的なアプローチ方法を検討していく。 医療機関と調整しながら、受診勧奨の方法を検討していく。
	2:悪化している		
	1:評価できない		

特定保健指導未利用者対策事業

事業目的	特定保健指導利用率・実施率の向上を図ります。
対象者	特定保健指導対象者
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	特定保健指導対象者への利用勧奨 ・対象者への個別通知 ・通知後、利用希望のなかった者に対し、電話にて利用勧奨を実施 ・保健指導未利用者には適宜文書指導、電話指導を実施 ・電話が繋がらない者には、文書指導の他、訪問を実施

【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット:特定保健指導対象者に対して利用勧奨する割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成状況	100%(119人)	100%(160人)	100%(144人)	100%(129人)	100%(122人)	100%(133人)	100%(100人)

※令和5年度については、令和6年1月末時点
 ※法定報告値ではなく、実際に利用勧奨した人数

アウトカム:特定保健指導実施率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	44.0%	59.0%	59.0%	59.5%	59.5%	60.0%	60.0%
達成状況	59.3%	37.7%	40.3%	23.0%	20.2%	26.2%	15.0%

※令和5年度については、令和6年1月末時点

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

保健指導未利用者への利用勧奨について、個別通知で対象者全員に勧奨することができた。保健指導未利用者には、文書指導や電話指導を行うことで、生活状況の把握を行い、少しでも健康管理に役立つ情報を提供した。

健康づくりステーション「未病センターにのみや」の利用を促すことで面接指導につながるケースや、定期的に利用を勧めることで、きめ細やかな支援が実現できるなど、個人の健康習慣の獲得にもつながった。

令和2、3年度は、新型コロナウイルスの影響で訪問によるフォローは実施できなかった。

事業全体の評価

- 5:目標達成
- 4:改善している
- ③:横ばい
- 2:悪化している
- 1:評価できない

考察 (成功・未達 要因)

新型コロナウイルスの影響で対面でのフォローに制限がかかり、令和2、3年度は実施率が減少した。令和4年度は実施率が上がったものの目標には届かなかった。

保健指導未利用者には、電話指導や文書による指導を行うことで、個々の健康状態に応じた支援を行えた。

今後の 方向性

当該年度だけでなく、経年でのフォローをしているため、個々の健康状態を把握し、今後も、個人に寄り添ったよりきめ細かな指導をしていく。

重症化予防事業

事業目的	糖尿病の重症化による合併症の予防を図ります。
対象者	特定健康診査受診者で、 ①HbA1c6.5%以上で、医療機関未受診者 ②HbA1c6.0%以上 6.5%未満で、医療機関未受診者
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	重症化予防事業の対象者への保健指導等 ・特定健康診査において、血糖検査が保健指導判定値以上で糖尿病治療薬を未服用者に電話・文書で受診勧奨、保健指導、集団指導を実施 ・HbA1c6.5%以上の者には積極的に電話・文書で受診勧奨、保健指導、集団指導の利用勧奨を実施

【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット:対象者に働きかける割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況 (対象者①)	100%(34人)	100%(47人)	100%(44人)	100%(30人)	100%(34人)	100%(100人)	100%(84人)
達成状況 (対象者②)	100%(117人)	100%(174人)	100%(178人)	未実施	100%(144人)	100%(173人)	100%(173人)

※令和5年度については、令和6年1月末時点

アウトカム:保健指導利用率(評価指標)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	①26.5% ②20.5%	①27.0% ②21.0%	①27.0% ②21.0%	①28.0% ②22.0%	①28.0% ②23.0%	①29.0% ②24.0%	①30.0% ②25.0%
達成状況 (対象者①)	26.5%	7.2%	25.7%	20.1%	13.5%	12.3%	37.0%
達成状況 (対象者②)	20.5%	17.6%	14.4%	未実施	6.7%	14.0%	7.5%

※令和4年度以降は、服薬ありの者を含む。

※令和5年度については、令和6年1月末時点

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

個別通知で対象者全員に勧奨することができた。
 面接だけではなく、電話指導や文書指導を行った。
 保健指導及び集団運動教室利用者は、面談日より半年後に食習慣・運動習慣に変化があったかの確認を行った。また、次年度の検査データの確認を行い、血糖値の経過を確認し成果が得られている。

事業全体の評価	5:目標達成 4:改善している 3:横ばい 2:悪化している 1:評価できない	<p>考察 (成功・未達要因)</p> <p>すべての対象者に受診勧奨の通知を送付することができたが、新型コロナウイルスの影響で個別面談の制限、令和2年度運動教室の中止などにより、保健指導利用率は、目標に届かなかった。 令和4年度からは、医師会と調整し服薬有の方も対象としたことから、対象者数が大幅に増加した。対象者の条件が変更されたため、令和3年度までの達成状況と単純比較は難しいが、対象者に働きかける割合は100%を維持している。</p>
	<p>今後の方向性</p> <p>対象者全員への個別勧奨通知は継続していく。 令和4年度より、服薬有の方も対象としたので、現状の方法で働きかけをしつつ、動向を見ながら、支援方法・内容について検討していく。 医師会と調整し方向性を検討していく。</p>	

保健普及事業(ジェネリック医薬品(後発医薬品)差額通知事業)

事業目的	ジェネリック医薬品の利用促進を図ります。
対象者	ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額の差額が500円以上の被保険者(ただし、直近2回で送った場合は対象外)
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	ジェネリック医薬品の利用促進 ・年2回(7月、2月)差額通知を対象者に送付 ・差額通知の対象薬効を平成30年度からは56薬効に拡大 ・6月の保険税決定通知書を郵送する際に、ジェネリック医薬品の希望カードを記載した国民健康保険のしおりを同封し、周知

【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット:対象者に対する勧奨通知割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	—	—	—	—	—	—	100%(250件)
達成状況	100%(187件)	100%(382件)	100%(283件)	100%(297件)	100%(202件)	100%(142件)	100%(155件)

アウトカム:使用率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	—	—	—	—	—	—	80.0%
達成状況	58.7%	70.1%	73.6%	76.0%	76.9%	78.4%	79.0%

※令和5年度については、令和5年12月末時点

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

ジェネリック医薬品に切り替えることによる効果が高い対象者全員に個別通知をすることで切り替えを促すことができた。保険税決定通知書に、ジェネリック医薬品の希望カードを記載したしおりを同封することで、すべての被保険者に周知できた。

事業全体の評価	5:目標達成 4:改善している 3:横ばい 2:悪化している 1:評価できない	考察 (成功・未達要因)	神奈川県、保健福祉事務所および薬剤師会の協力のもと、管内の大規模な病院に啓発活動を行ったため使用率が伸びた。 全対象者へのジェネリック差額通知のほか、全被保険者に配布している「国保のしおり」にジェネリック医薬品の希望カードを記載するなど、定期的な啓発を行った。
		今後の方向性	これまでの取り組みを継続するほか、より効果的な周知方法について検討する。

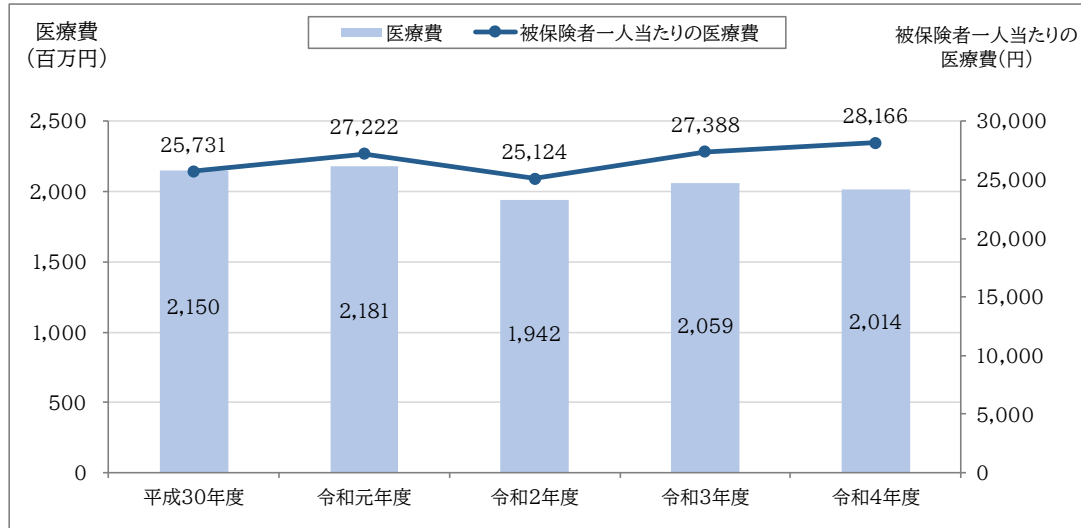
第4章 健康・医療情報等の分析

1. 医療費の基礎集計

(1) 医療費の状況

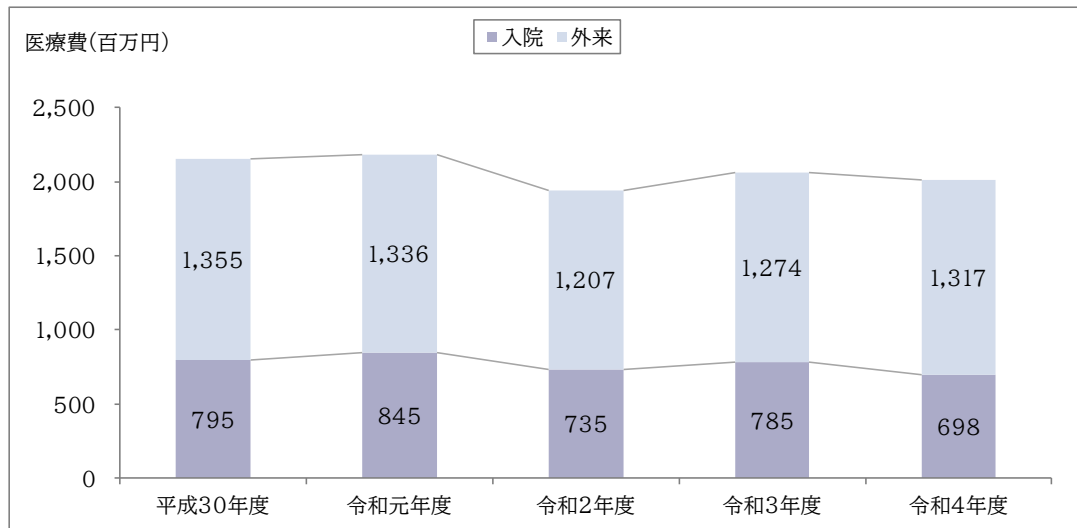
以下は、本町の医療費の状況を示したものです。

年度別 一人あたりの医療費の状況



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
※被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当
※医療費…1年分相当
※各年度3月末時点

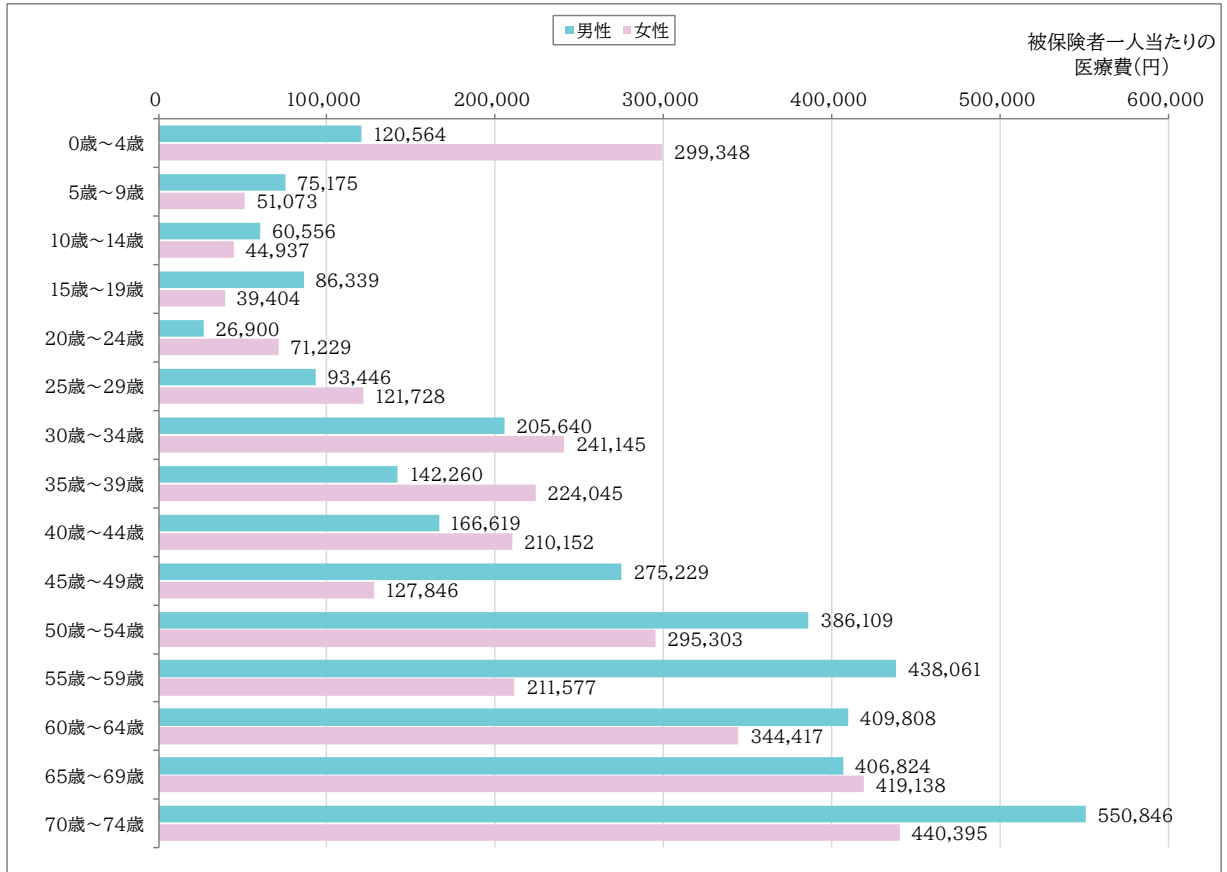
年度別 入院・外来別医療費



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
※入院・外来別医療費…1年分相当
※各年度3月末時点

以下は、令和4年度における、本町の被保険者一人当たりの医療費を男女年齢階層別に示したものです。

男女年齢階層別 被保険者一人当たり(1年間)の医療費(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(大分類)」
※令和5年3月末時点

以下は、年度別の被保険者一人当たりの医療費を示したものです。

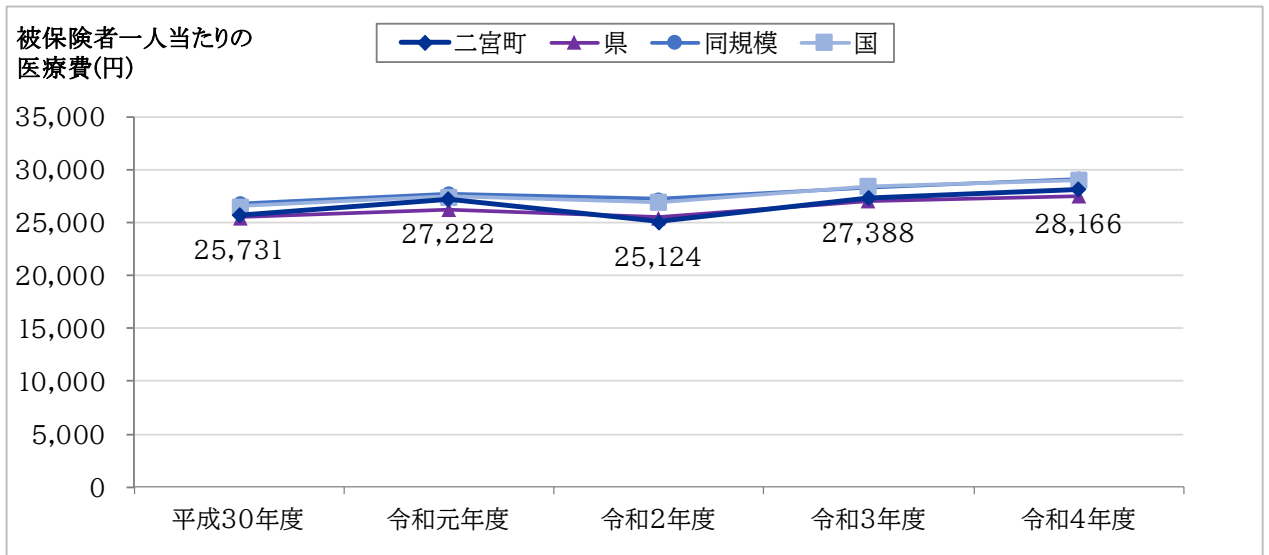
年度別 被保険者一人当たりの医療費(1カ月)

単位:円

年度	二宮町	県	同規模	国
平成30年度	25,731	25,524	26,862	26,555
令和元年度	27,222	26,235	27,767	27,475
令和2年度	25,124	25,483	27,245	26,961
令和3年度	27,388	27,099	28,359	28,469
令和4年度	28,166	27,523	29,136	29,043

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
 ※各年度3月末時点

年度別 被保険者一人当たりの医療費(1カ月)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
 ※各年度3月末時点

(2)疾病別医療費

令和4年度の入院医療費では、「循環器系の疾患」が最も高く、17.4%を占めています。

大・中・細小分類別分析(入院)(令和4年度)

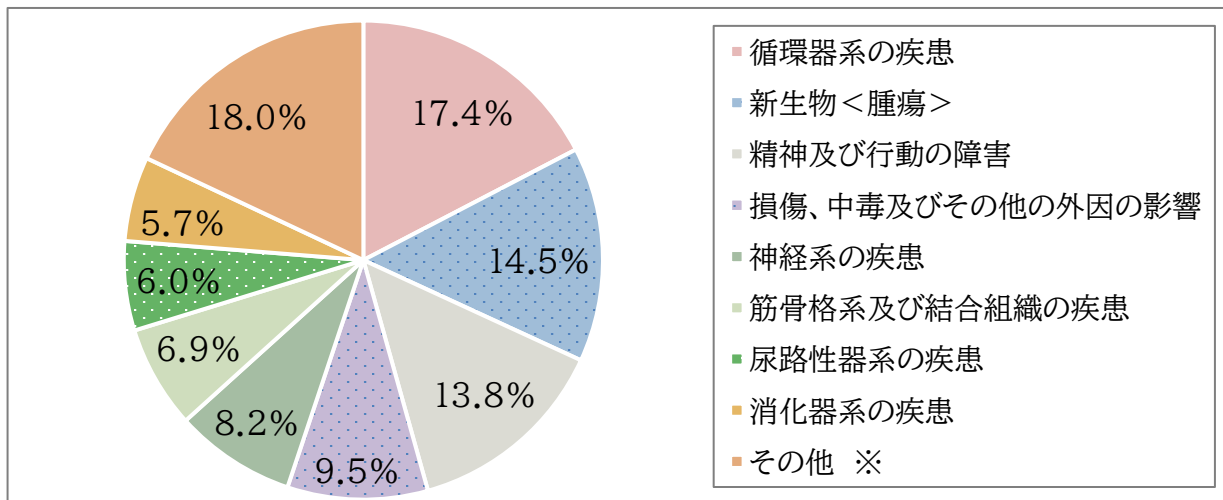
順位	大分類別分析		中分類別分析			細小分類分析	
1	循環器系の疾患	17.4%	その他の心疾患	9.0%		不整脈	2.8%
			脳梗塞	2.8%		心臓弁膜症	0.6%
			虚血性心疾患	2.0%		脳梗塞	2.8%
						心筋梗塞	1.1%
2	新生物<腫瘍>	14.5%	その他の悪性新生物<腫瘍>	6.3%		卵巣腫瘍(悪性)	1.8%
			良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	2.2%		食道がん	1.1%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1.5%		膵臓がん	0.8%
						子宮筋腫	0.5%
3	精神及び行動の障害	13.8%	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8.2%		統合失調症	8.2%
			気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	2.3%		うつ病	2.3%
			神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.6%			
4	損傷、中毒及びその他の外因の影響	9.5%	骨折	7.8%		骨折	7.8%
			その他損傷及びその他外因の影響	1.2%			
			頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0.4%			

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

※令和5年3月末時点

大分類別医療費構成比(入院)(令和4年度)



※その他…入院医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約

※令和5年3月末時点

令和4年度の外来医療費では、「新生物<腫瘍>」が最も高く、17.6%を占めています。

大・中・細小分類別分析(外来)(令和4年度)

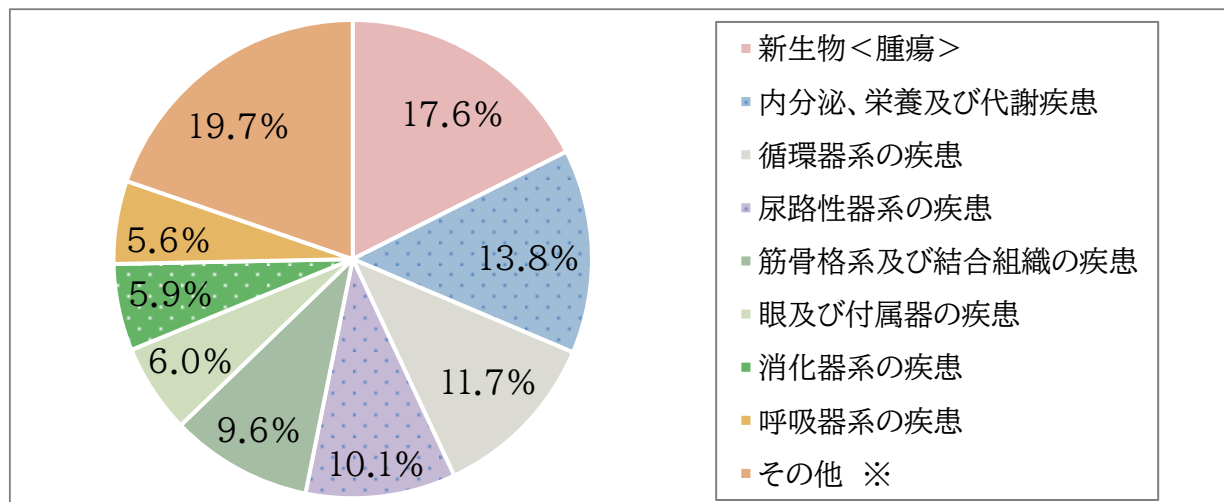
順位	大分類別分析		中分類別分析		細小分類分析	
1	新生物<腫瘍>	17.6%	その他の悪性新生物<腫瘍>	6.3%	前立腺がん	1.4%
			乳房の悪性新生物<腫瘍>	2.8%	卵巣腫瘍(悪性)	0.5%
					膵臓がん	0.4%
					乳がん	2.8%
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2.4%	肺がん	2.4%			
2	内分泌、栄養及び代謝疾患	13.8%	糖尿病	8.8%	糖尿病	8.5%
			脂質異常症	4.0%	糖尿病網膜症	0.3%
					脂質異常症	4.0%
					甲状腺障害	0.6%
3	循環器系の疾患	11.7%	高血圧性疾患	4.9%	高血圧症	4.9%
			その他の心疾患	4.8%	不整脈	1.8%
					虚血性心疾患	0.8%
4	尿路性器系の疾患	10.1%	腎不全	8.2%	慢性腎臓病(透析あり)	7.3%
					慢性腎臓病(透析なし)	0.3%
			その他の腎尿路系の疾患	0.6%		
			乳房及びその他の女性生殖器の疾患	0.5%	乳腺症	0.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

※令和5年3月末時点

大分類別医療費構成比(外来)(令和4年度)



※その他…外来医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約

※令和5年3月末時点

令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費第1位は「慢性腎臓病(透析あり)」で、6.0%を占めています。

細小分類による医療費上位10疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	慢性腎臓病(透析あり)	120,756,560	6.0%
2	糖尿病	113,223,490	5.6%
3	関節疾患	80,707,490	4.0%
4	統合失調症	75,467,110	3.8%
5	高血圧症	64,659,530	3.2%
6	骨折	59,448,330	3.0%
7	脂質異常症	52,054,860	2.6%
8	うつ病	44,724,940	2.2%
9	不整脈	43,404,160	2.2%
10	大腸がん	42,931,760	2.1%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※割合…総医療費に占める割合

※細小分類のうち、「その他」及び「小児科」については上位10疾病の対象外としている。

※令和5年3月末時点

以下は、令和4年度における最大医療資源傷病名別の医療費構成比を示したものです。

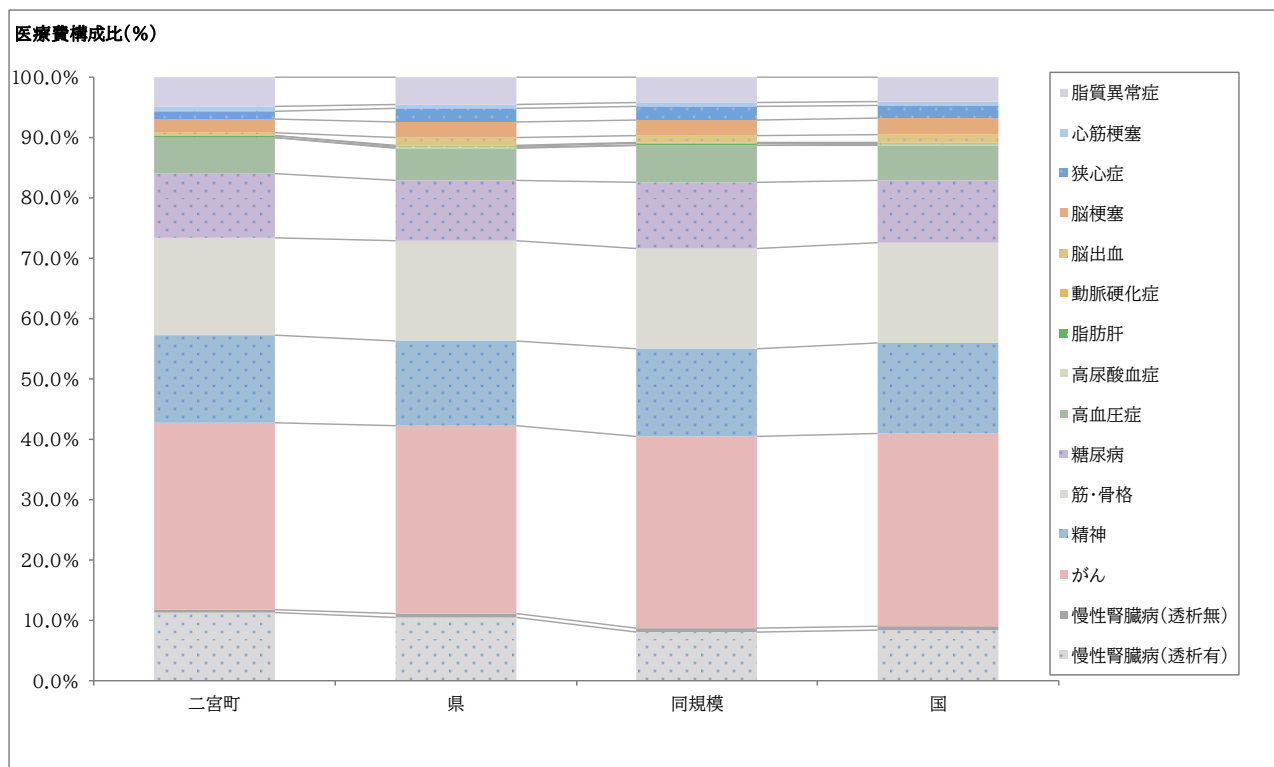
最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)

傷病名	二宮町	県	同規模	国
慢性腎臓病(透析有)	11.3%	10.5%	8.0%	8.3%
慢性腎臓病(透析無)	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%
がん	31.0%	31.1%	31.9%	32.0%
精神	14.4%	14.0%	14.6%	15.0%
筋・骨格	16.3%	16.6%	16.6%	16.6%
糖尿病	10.5%	10.0%	11.0%	10.4%
高血圧症	6.0%	5.4%	6.1%	5.8%
高尿酸血症	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
脂肪肝	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
動脈硬化症	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
脳出血	0.5%	1.3%	1.2%	1.3%
脳梗塞	2.2%	2.5%	2.6%	2.7%
狭心症	1.3%	2.3%	2.2%	2.1%
心筋梗塞	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%
脂質異常症	4.9%	4.5%	4.2%	4.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※令和5年3月末時点

最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※令和5年3月末時点

以下は、令和4年度の生活習慣病医療費の状況について、入院、外来、入外合計別に示したものです。

生活習慣病等疾病別医療費統計(入院)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	4,163,070	0.6%	8	12	1.0%	5	346,923	8
高血圧症	1,225,610	0.2%	9	5	0.4%	8	245,122	9
脂質異常症	48,620	0.0%	10	1	0.1%	10	48,620	10
高尿酸血症	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
脂肪肝	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
動脈硬化症	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
脳出血	4,780,290	0.7%	7	4	0.3%	9	1,195,073	2
脳梗塞	19,686,650	2.8%	4	31	2.7%	4	635,053	5
狭心症	6,376,000	0.9%	6	8	0.7%	6	797,000	3
心筋梗塞	7,373,250	1.1%	5	6	0.5%	7	1,228,875	1
がん	101,218,590	14.5%	1	160	14.0%	2	632,616	6
筋・骨格	48,455,240	7.0%	3	73	6.4%	3	663,770	4
精神	96,144,020	13.8%	2	216	18.9%	1	445,111	7
その他(上記以外のもの)	407,432,060	58.5%		629	54.9%		647,746	
合計	696,903,400			1,145			608,649	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」
 ※令和5年3月末時点

生活習慣病等疾病別医療費統計(外来)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	108,229,300	8.3%	3	3,784	7.4%	3	28,602	3
高血圧症	63,433,920	4.9%	4	4,923	9.6%	2	12,885	11
脂質異常症	51,999,580	4.0%	6	3,779	7.4%	4	13,760	10
高尿酸血症	1,315,670	0.1%	10	143	0.3%	9	9,200	12
脂肪肝	2,630,630	0.2%	9	100	0.2%	10	26,306	5
動脈硬化症	953,100	0.1%	11	27	0.1%	12	35,300	2
脳出血	156,990	0.0%	13	22	0.0%	13	7,136	13
脳梗塞	3,403,570	0.3%	8	176	0.3%	8	19,338	6
狭心症	7,980,790	0.6%	7	424	0.8%	7	18,823	7
心筋梗塞	857,630	0.1%	12	32	0.1%	11	26,801	4
がん	229,909,080	17.6%	1	1,745	3.4%	6	131,753	1
筋・骨格	125,528,110	9.6%	2	6,678	13.0%	1	18,797	8
精神	57,604,250	4.4%	5	3,220	6.3%	5	17,890	9
その他(上記以外のもの)	653,728,920	50.0%		26,126	51.0%		25,022	
合計	1,307,731,540			51,179			25,552	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」
 ※令和5年3月末時点

生活習慣病等疾病別医療費統計(入院・外来合計)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	112,392,370	5.6%	4	3,796	7.3%	3	29,608	8
高血圧症	64,659,530	3.2%	5	4,928	9.4%	2	13,121	12
脂質異常症	52,048,200	2.6%	6	3,780	7.2%	4	13,769	11
高尿酸血症	1,315,670	0.1%	12	143	0.3%	9	9,200	13
脂肪肝	2,630,630	0.1%	11	100	0.2%	10	26,306	9
動脈硬化症	953,100	0.0%	13	27	0.1%	12	35,300	6
脳出血	4,937,280	0.2%	10	26	0.0%	13	189,895	2
脳梗塞	23,090,220	1.2%	7	207	0.4%	8	111,547	4
狭心症	14,356,790	0.7%	8	432	0.8%	7	33,233	7
心筋梗塞	8,230,880	0.4%	9	38	0.1%	11	216,602	1
がん	331,127,670	16.5%	1	1,905	3.6%	6	173,820	3
筋・骨格	173,983,350	8.7%	2	6,751	12.9%	1	25,771	10
精神	153,748,270	7.7%	3	3,436	6.6%	5	44,746	5
その他(上記以外のもの)	1,061,160,980	52.9%		26,755	51.1%		39,662	
合計	2,004,634,940			52,324			38,312	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」
 ※令和5年3月末時点

2.生活習慣病に関する分析

(1)生活習慣病患者の状況

以下は、生活習慣病患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものです。

生活習慣病全体のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	生活習慣病対象者		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	694	225	40	5.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	
30歳代	385	191	85	22.1%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	6	7.1%	
40歳代	646	286	151	23.4%	9	6.0%	5	3.3%	3	2.0%	17	11.3%	
50歳代	750	370	226	30.1%	15	6.6%	9	4.0%	4	1.8%	45	19.9%	
60歳～64歳	580	403	230	39.7%	16	7.0%	17	7.4%	3	1.3%	55	23.9%	
65歳～69歳	1,125	873	512	45.5%	62	12.1%	64	12.5%	7	1.4%	157	30.7%	
70歳～74歳	1,984	1,845	1,050	52.9%	122	11.6%	113	10.8%	9	0.9%	315	30.0%	
全体	6,164	4,193	2,294	37.2%	225	9.8%	208	9.1%	26	1.1%	596	26.0%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	2,169	42.7%	224	10.3%	208	9.6%	26	1.2%	589	27.2%
再掲	65歳～74歳	3,109	2,718	1,562	50.2%	184	11.8%	177	11.3%	16	1.0%	472	30.2%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	N	N/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	3	7.5%	
30歳代	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	8.2%	2	2.4%	12	14.1%	
40歳代	4	2.6%	3	2.0%	3	2.0%	0	0.0%	34	22.5%	14	9.3%	41	27.2%	
50歳代	5	2.2%	7	3.1%	3	1.3%	2	0.9%	90	39.8%	37	16.4%	82	36.3%	
60歳～64歳	6	2.6%	7	3.0%	0	0.0%	2	0.9%	96	41.7%	21	9.1%	109	47.4%	
65歳～69歳	25	4.9%	23	4.5%	12	2.3%	6	1.2%	282	55.1%	70	13.7%	306	59.8%	
70歳～74歳	36	3.4%	51	4.9%	23	2.2%	10	1.0%	614	58.5%	115	11.0%	584	55.6%	
全体	77	3.4%	91	4.0%	41	1.8%	20	0.9%	1,123	49.0%	260	11.3%	1,137	49.6%	
再掲	40歳～74歳	76	3.5%	91	4.2%	41	1.9%	20	0.9%	1,116	51.5%	257	11.8%	1,122	51.7%
再掲	65歳～74歳	61	3.9%	74	4.7%	35	2.2%	16	1.0%	896	57.4%	185	11.8%	890	57.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「生活習慣病全体のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

糖尿病のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	694	225	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	385	191	6	1.6%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	646	286	17	2.6%	4	23.5%	3	17.6%	3	17.6%	0	0.0%	
50歳代	750	370	45	6.0%	5	11.1%	7	15.6%	3	6.7%	2	4.4%	
60歳～64歳	580	403	55	9.5%	6	10.9%	7	12.7%	0	0.0%	2	3.6%	
65歳～69歳	1,125	873	157	14.0%	25	15.9%	23	14.6%	12	7.6%	6	3.8%	
70歳～74歳	1,984	1,845	315	15.9%	36	11.4%	51	16.2%	23	7.3%	10	3.2%	
全体	6,164	4,193	596	9.7%	77	12.9%	91	15.3%	41	6.9%	20	3.4%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	589	11.6%	76	12.9%	91	15.4%	41	7.0%	20	3.4%
再掲	65歳～74歳	3,109	2,718	472	15.2%	61	12.9%	74	15.7%	35	7.4%	16	3.4%

年齢階層	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%	3	50.0%	
40歳代	4	23.5%	2	11.8%	2	11.8%	12	70.6%	4	23.5%	11	64.7%	
50歳代	5	11.1%	4	8.9%	2	4.4%	28	62.2%	15	33.3%	34	75.6%	
60歳～64歳	7	12.7%	6	10.9%	1	1.8%	38	69.1%	7	12.7%	36	65.5%	
65歳～69歳	27	17.2%	33	21.0%	5	3.2%	109	69.4%	31	19.7%	124	79.0%	
70歳～74歳	49	15.6%	56	17.8%	6	1.9%	222	70.5%	53	16.8%	225	71.4%	
全体	93	15.6%	101	16.9%	16	2.7%	411	69.0%	111	18.6%	433	72.7%	
再掲	40歳～74歳	92	15.6%	101	17.1%	16	2.7%	409	69.4%	110	18.7%	430	73.0%
再掲	65歳～74歳	76	16.1%	89	18.9%	11	2.3%	331	70.1%	84	17.8%	349	73.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「糖尿病のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

脂質異常症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	694	225	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	385	191	12	3.1%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%	
40歳代	646	286	41	6.3%	7	17.1%	3	7.3%	3	7.3%	11	26.8%	
50歳代	750	370	82	10.9%	7	8.5%	7	8.5%	3	3.7%	34	41.5%	
60歳～64歳	580	403	109	18.8%	12	11.0%	12	11.0%	2	1.8%	36	33.0%	
65歳～69歳	1,125	873	306	27.2%	50	16.3%	48	15.7%	3	1.0%	124	40.5%	
70歳～74歳	1,984	1,845	584	29.4%	90	15.4%	84	14.4%	8	1.4%	225	38.5%	
全体	6,164	4,193	1,137	18.4%	167	14.7%	154	13.5%	19	1.7%	433	38.1%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	1,122	22.1%	166	14.8%	154	13.7%	19	1.7%	430	38.3%
再掲	65歳～74歳	3,109	2,718	890	28.6%	140	15.7%	132	14.8%	11	1.2%	349	39.2%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	
30歳代	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	1	8.3%	
40歳代	2	4.9%	2	4.9%	2	4.9%	0	0.0%	19	46.3%	12	29.3%	
50歳代	4	4.9%	5	6.1%	3	3.7%	1	1.2%	53	64.6%	24	29.3%	
60歳～64歳	3	2.8%	5	4.6%	0	0.0%	2	1.8%	60	55.0%	13	11.9%	
65歳～69歳	17	5.6%	21	6.9%	8	2.6%	3	1.0%	201	65.7%	54	17.6%	
70歳～74歳	26	4.5%	46	7.9%	16	2.7%	8	1.4%	422	72.3%	83	14.2%	
全体	53	4.7%	79	6.9%	29	2.6%	14	1.2%	757	66.6%	188	16.5%	
再掲	40歳～74歳	52	4.6%	79	7.0%	29	2.6%	14	1.2%	755	67.3%	186	16.6%
再掲	65歳～74歳	43	4.8%	67	7.5%	24	2.7%	11	1.2%	623	70.0%	137	15.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「脂質異常症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

高血圧症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	高血圧症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	694	225	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	385	191	7	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	
40歳代	646	286	34	5.3%	6	17.6%	4	11.8%	2	5.9%	12	35.3%	
50歳代	750	370	90	12.0%	9	10.0%	8	8.9%	4	4.4%	28	31.1%	
60歳～64歳	580	403	96	16.6%	10	10.4%	12	12.5%	2	2.1%	38	39.6%	
65歳～69歳	1,125	873	282	25.1%	50	17.7%	41	14.5%	6	2.1%	109	38.7%	
70歳～74歳	1,984	1,845	614	30.9%	87	14.2%	92	15.0%	9	1.5%	222	36.2%	
全体	6,164	4,193	1,123	18.2%	162	14.4%	157	14.0%	23	2.0%	411	36.6%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	1,116	21.9%	162	14.5%	157	14.1%	23	2.1%	409	36.6%
再掲	65歳～74歳	3,109	2,718	896	28.8%	137	15.3%	133	14.8%	15	1.7%	331	36.9%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	
40歳代	2	5.9%	1	2.9%	2	5.9%	0	0.0%	7	20.6%	19	55.9%	
50歳代	4	4.4%	5	5.6%	3	3.3%	2	2.2%	28	31.1%	53	58.9%	
60歳～64歳	5	5.2%	6	6.3%	0	0.0%	2	2.1%	13	13.5%	60	62.5%	
65歳～69歳	16	5.7%	14	5.0%	8	2.8%	3	1.1%	64	22.7%	201	71.3%	
70歳～74歳	29	4.7%	41	6.7%	13	2.1%	8	1.3%	93	15.1%	422	68.7%	
全体	57	5.1%	67	6.0%	26	2.3%	15	1.3%	205	18.3%	757	67.4%	
再掲	40歳～74歳	56	5.0%	67	6.0%	26	2.3%	15	1.3%	205	18.4%	755	67.7%
再掲	65歳～74歳	45	5.0%	55	6.1%	21	2.3%	11	1.2%	157	17.5%	623	69.5%

出典:国保データベース(KDB)システム「高血圧症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

虚血性心疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	虚血性心疾患		脳血管疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	694	225	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	385	191	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	646	286	5	0.8%	1	20.0%	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%	
50歳代	750	370	9	1.2%	2	22.2%	1	11.1%	4	44.4%	0	0.0%	
60歳～64歳	580	403	17	2.9%	2	11.8%	1	5.9%	6	35.3%	0	0.0%	
65歳～69歳	1,125	873	64	5.7%	10	15.6%	5	7.8%	33	51.6%	4	6.3%	
70歳～74歳	1,984	1,845	113	5.7%	29	25.7%	7	6.2%	56	49.6%	10	8.8%	
全体	6,164	4,193	208	3.4%	44	21.2%	16	7.7%	101	48.6%	15	7.2%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	208	4.1%	44	21.2%	16	7.7%	101	48.6%	15	7.2%
再掲	65歳～74歳	3,109	2,718	177	5.7%	39	22.0%	12	6.8%	89	50.3%	14	7.9%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	1	20.0%	2	40.0%	0	0.0%	4	80.0%	2	40.0%	3	60.0%	
50歳代	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	8	88.9%	4	44.4%	7	77.8%	
60歳～64歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	70.6%	2	11.8%	12	70.6%	
65歳～69歳	5	7.8%	3	4.7%	1	1.6%	41	64.1%	11	17.2%	48	75.0%	
70歳～74歳	9	8.0%	5	4.4%	3	2.7%	92	81.4%	25	22.1%	84	74.3%	
全体	15	7.2%	11	5.3%	4	1.9%	157	75.5%	44	21.2%	154	74.0%	
再掲	40歳～74歳	15	7.2%	11	5.3%	4	1.9%	157	75.5%	44	21.2%	154	74.0%
再掲	65歳～74歳	14	7.9%	8	4.5%	4	2.3%	133	75.1%	36	20.3%	132	74.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「虚血性心疾患のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

脳血管疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	694	225	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	385	191	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	
40歳代	646	286	9	1.4%	1	11.1%	1	11.1%	4	44.4%	0	0.0%	
50歳代	750	370	15	2.0%	2	13.3%	1	6.7%	5	33.3%	1	6.7%	
60歳～64歳	580	403	16	2.8%	2	12.5%	0	0.0%	7	43.8%	1	6.3%	
65歳～69歳	1,125	873	62	5.5%	10	16.1%	1	1.6%	27	43.5%	8	12.9%	
70歳～74歳	1,984	1,845	122	6.1%	29	23.8%	3	2.5%	49	40.2%	11	9.0%	
全体	6,164	4,193	225	3.7%	44	19.6%	6	2.7%	93	41.3%	21	9.3%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	224	4.4%	44	19.6%	6	2.7%	92	41.1%	21	9.4%
再掲	65歳～74歳	3,109	2,718	184	5.9%	39	21.2%	4	2.2%	76	41.3%	19	10.3%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	
40歳代	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	6	66.7%	4	44.4%	7	77.8%	
50歳代	2	13.3%	1	6.7%	1	6.7%	9	60.0%	2	13.3%	7	46.7%	
60歳～64歳	2	12.5%	0	0.0%	1	6.3%	10	62.5%	1	6.3%	12	75.0%	
65歳～69歳	8	12.9%	4	6.5%	1	1.6%	50	80.6%	12	19.4%	50	80.6%	
70歳～74歳	9	7.4%	6	4.9%	2	1.6%	87	71.3%	20	16.4%	90	73.8%	
全体	22	9.8%	12	5.3%	5	2.2%	162	72.0%	39	17.3%	167	74.2%	
再掲	40歳～74歳	22	9.8%	12	5.4%	5	2.2%	162	72.3%	39	17.4%	166	74.1%
再掲	65歳～74歳	17	9.2%	10	5.4%	3	1.6%	137	74.5%	32	17.4%	140	76.1%

出典:国保データベース(KDB)システム「脳血管疾患のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

(2)透析患者の状況

以下は、令和4年度における、透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合を示したものです。

透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合(令和4年度)

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
二宮町	5,729	25	0.44%
県	1,671,223	6,292	0.38%
同規模	882,802	3,083	0.35%
国	24,660,500	86,890	0.35%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」

※同規模とは人口20,000人以上の全国町村の合計値

※令和5年3月末時点

以下は、本町の年度別の透析患者数及び医療費の状況等について示したものです。

年度別 透析患者数及び医療費

年度	透析患者数(人)	新規透析患者数(人)※	透析医療費(円)※	患者一人当たりの透析医療費(円)
平成30年度	23	2	131,305,100	5,708,917
令和元年度	23	7	146,187,920	6,355,997
令和2年度	24	3	135,074,710	5,628,113
令和3年度	26	3	153,940,070	5,920,772
令和4年度	25	5	151,808,630	6,072,345

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」

※新規透析患者数(人)…特定疾病療養受領証から確認

※透析医療費…人工透析を行っているレセプトの総点数を医療費換算したもの

※各年度3月末時点

以下は、透析患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものです。

透析のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	人工透析		糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	694	225	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	385	191	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	646	286	3	0.5%	2	66.7%	1	33.3%	1	33.3%	2	66.7%	
50歳代	750	370	4	0.5%	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	
60歳～64歳	580	403	3	0.5%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
65歳～69歳	1,125	873	7	0.6%	5	71.4%	0	0.0%	1	14.3%	2	28.6%	
70歳～74歳	1,984	1,845	9	0.5%	6	66.7%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	
全体	6,164	4,193	26	0.4%	16	61.5%	3	11.5%	3	11.5%	4	15.4%	
再掲	40歳～74歳	5,085	3,777	26	0.5%	16	61.5%	3	11.5%	3	11.5%	4	15.4%
	65歳～74歳	3,109	2,718	16	0.5%	11	68.8%	1	6.3%	2	12.5%	2	12.5%

年齢階層	糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	0	0.0%	2	66.7%	3	100.0%	3	100.0%	1	33.3%	2	66.7%	
50歳代	1	25.0%	4	100.0%	2	50.0%	3	75.0%	1	25.0%	1	25.0%	
60歳～64歳	0	0.0%	2	66.7%	2	66.7%	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%	
65歳～69歳	0	0.0%	6	85.7%	3	42.9%	3	42.9%	1	14.3%	5	71.4%	
70歳～74歳	0	0.0%	9	100.0%	4	44.4%	8	88.9%	3	33.3%	7	77.8%	
全体	1	3.8%	23	88.5%	14	53.8%	19	73.1%	6	23.1%	16	61.5%	
再掲	40歳～74歳	1	3.8%	23	88.5%	14	53.8%	19	73.1%	6	23.1%	16	61.5%
	65歳～74歳	0	0.0%	15	93.8%	7	43.8%	11	68.8%	4	25.0%	12	75.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

3. 特定健康診査データによる分析

以下は、令和4年度特定健康診査データによる、検査項目別の有所見者の状況を示したものです。健診受診者全体では、HbA1cの有所見者割合が最も高く、健診受診者の49.0%を占めています。年齢階層別にみると、40歳～64歳ではLDLコレステロール、65歳～74歳ではHbA1cの有所見者割合が最も高くなっています。

検査項目別有所見者の状況(令和4年度)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上
二宮町	40歳～64歳	人数(人)	90	110	47	62	11	60	106	29
		割合(%)	26.0%	31.8%	13.6%	17.9%	3.2%	17.3%	30.6%	8.4%
	65歳～74歳	人数(人)	261	391	160	118	36	376	636	68
		割合(%)	22.3%	33.5%	13.7%	10.1%	3.1%	32.2%	54.5%	5.8%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	351	501	207	180	47	436	742	97
		割合(%)	23.2%	33.1%	13.7%	11.9%	3.1%	28.8%	49.0%	6.4%
県		割合(%)	24.9%	33.7%	18.5%	13.6%	3.1%	24.5%	50.1%	7.3%
国		割合(%)	26.9%	34.9%	21.1%	14.0%	3.8%	24.8%	58.2%	6.6%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
二宮町	40歳～64歳	人数(人)	121	58	186	1	97	9	6	33
		割合(%)	35.0%	16.8%	53.8%	0.3%	28.0%	2.6%	1.7%	9.5%
	65歳～74歳	人数(人)	562	203	545	15	351	32	25	299
		割合(%)	48.1%	17.4%	46.7%	1.3%	30.1%	2.7%	2.1%	25.6%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	683	261	731	16	448	41	31	332
		割合(%)	45.1%	17.2%	48.3%	1.1%	29.6%	2.7%	2.0%	21.9%
県		割合(%)	47.4%	21.5%	51.7%	1.2%	17.6%	7.6%	4.9%	22.6%
国		割合(%)	48.3%	20.7%	50.1%	1.3%	21.4%	18.4%	5.2%	21.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診有所見者状況(男女別・年代別)」

※令和5年3月末時点

以下は、令和4年度特定健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況を示したものです。健診受診者全体では、予備群は12.7%、該当者は17.4%です。また、血糖、血圧、脂質の3項目すべての追加リスクを持っている該当者は4.3%です。

メタボリックシンドローム該当状況(令和4年度)

年齢階層	健診受診者		腹囲のみ		予備群		血糖		血圧		脂質	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	346	22.0%	17	4.9%	52	15.0%	1	0.3%	30	8.7%	21	6.1%
65歳～74歳	1,168	44.2%	28	2.4%	140	12.0%	5	0.4%	108	9.2%	27	2.3%
全体(40歳～74歳)	1,514	35.9%	45	3.0%	192	12.7%	6	0.4%	138	9.1%	48	3.2%

年齢階層	該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	41	11.8%	3	0.9%	1	0.3%	26	7.5%	11	3.2%
65歳～74歳	223	19.1%	27	2.3%	3	0.3%	139	11.9%	54	4.6%
全体(40歳～74歳)	264	17.4%	30	2.0%	4	0.3%	165	10.9%	65	4.3%

出典:国保データベース(KDB)システム「メタボリックシンドローム該当者・予備群」

※健診受診者には人間ドック受診者を含む。

※令和5年3月末時点

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク(①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

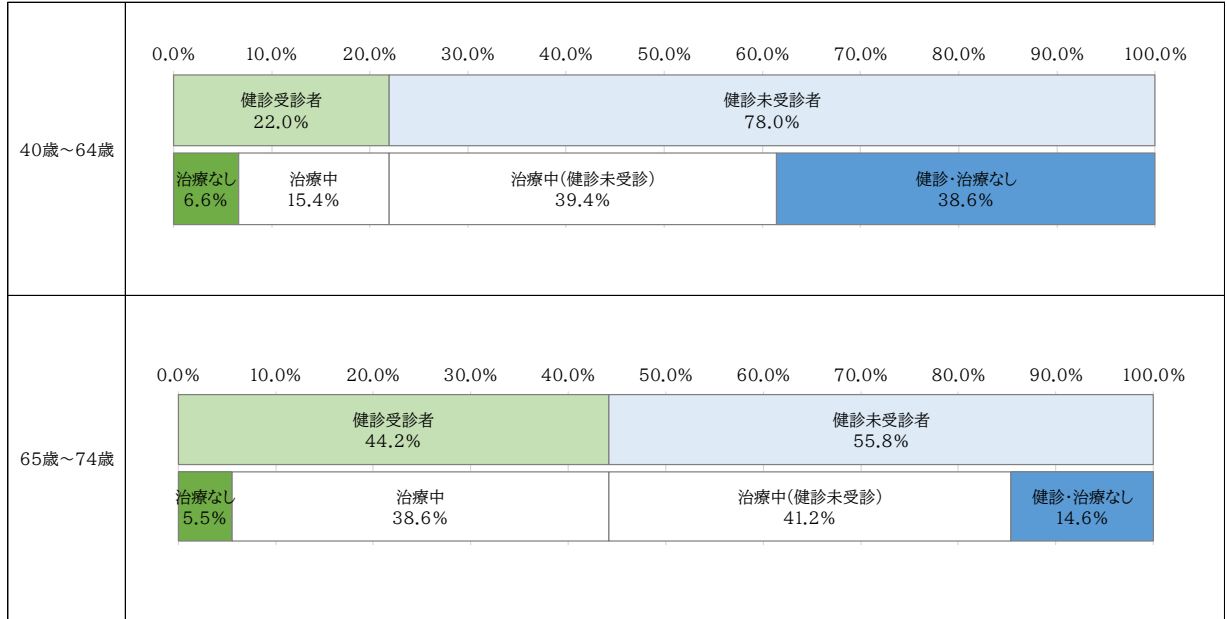
③脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

4. 特定健診対象者の生活習慣病治療状況

以下は、令和4年度における40歳以上の特定健診対象者について、健診受診状況別に生活習慣病の治療状況を示したものです。

特定健診対象者の生活習慣病治療状況(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導」

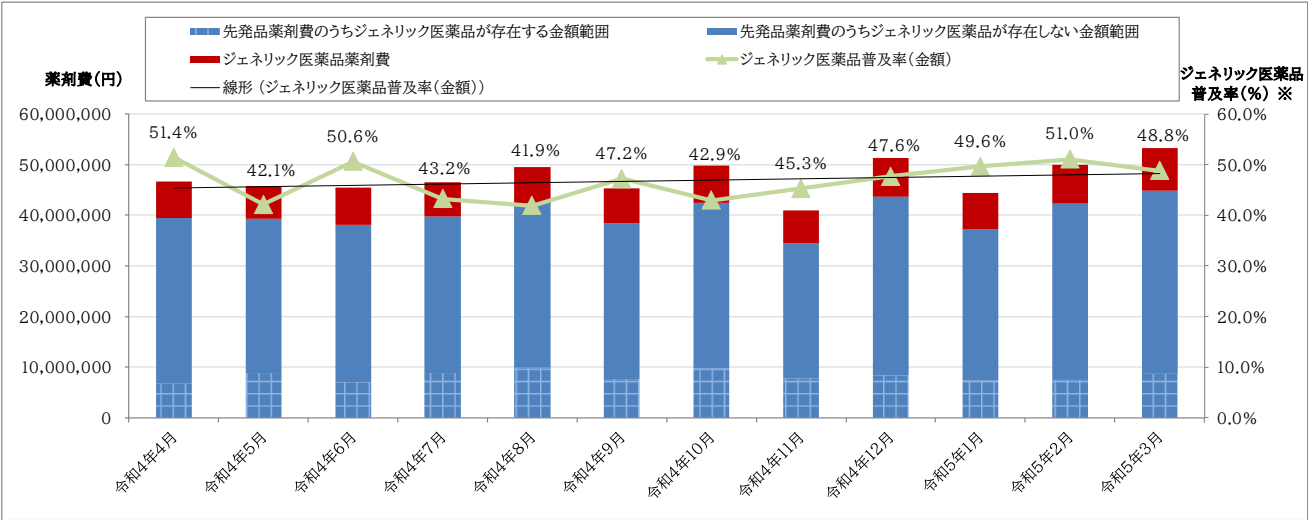
※「治療中」…特定健診対象者のうち、生活習慣病のレセプトを持つ患者を対象として集計

※令和5年3月末時点

5.ジェネリック医薬品普及率に係る分析

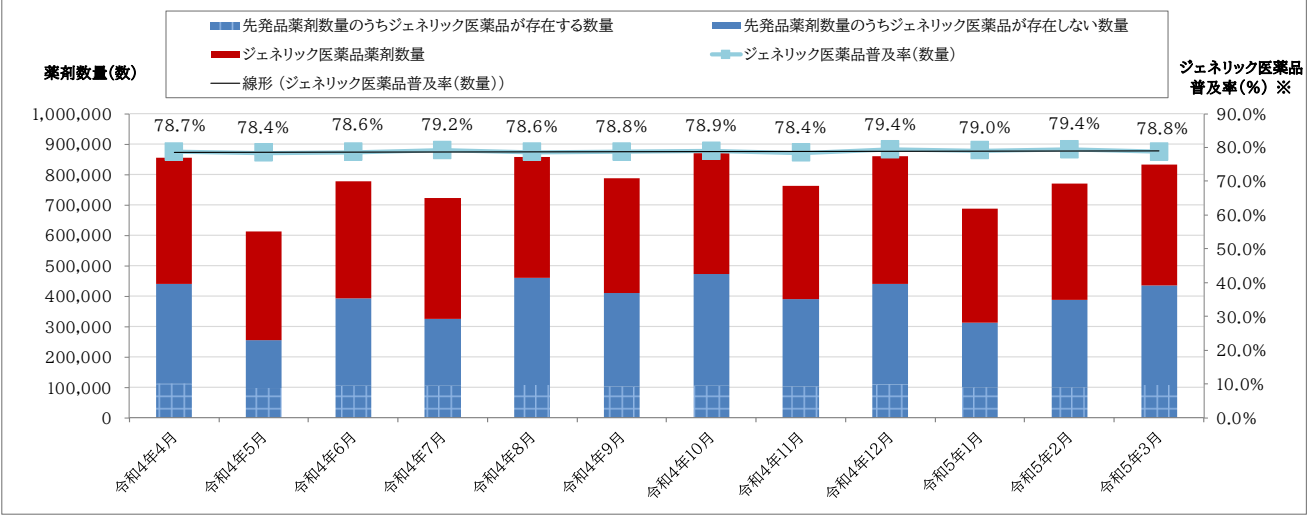
以下は、診療年月毎の状況について示したものです。令和4年4月～令和5年3月診療分(12ヵ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は、金額ベースでは46.7%、数量ベースでは78.9%となっています。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

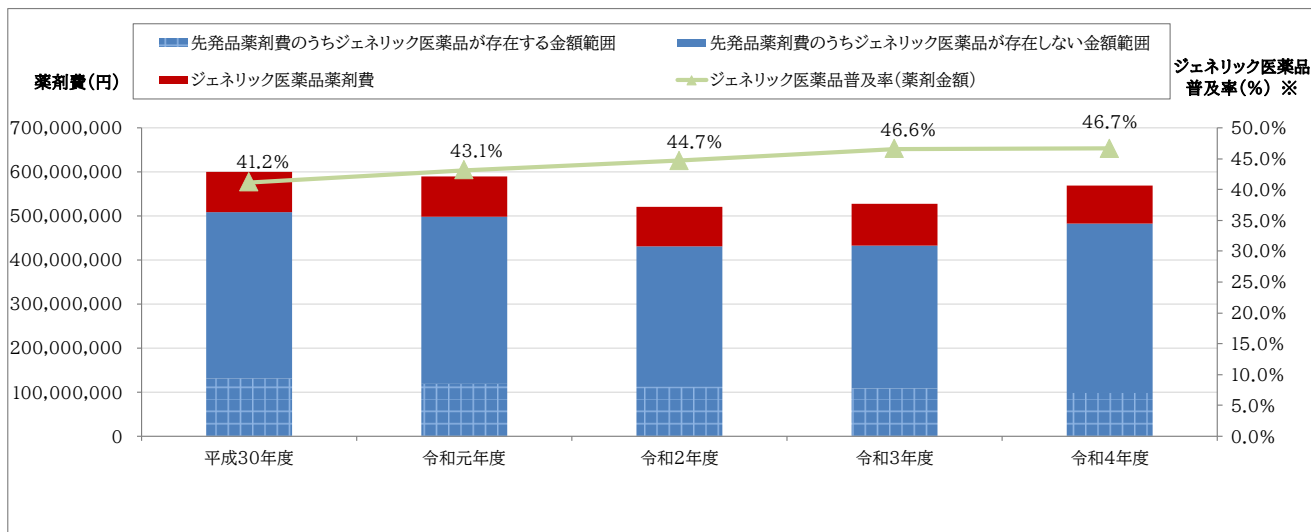
ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

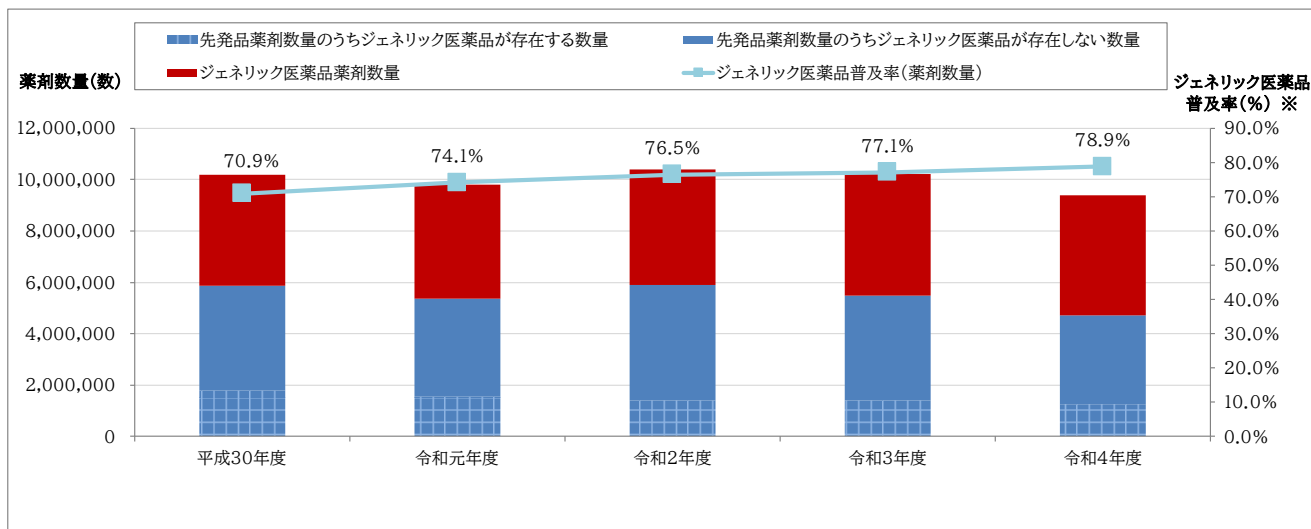
以下は、平成30年度から令和4年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)46.7%は、平成30年度41.2%より5.5ポイント増加しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)78.9%は、平成30年度70.9%より8.0ポイント増加しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

1.分析結果のまとめ

前章までで保険者及び被保険者全体の特性や傾向をとらえる分析と特定のリスク要因についての分析を行いました。これらの分析の結果を以下に示します。

項目	分析結果
人口構成 (P5)	令和4年度における高齢化率(65歳以上)は35.3%であり、県との比較で1.4倍、同規模との比較で1.2倍となっています。また、国民健康保険被保険者数は5,770人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は21.1%です。国民健康保険被保険者平均年齢は56.7歳です。
特定健康診査及び 特定保健指導 (P8~10)	令和4年度の特定健康診査受診率35.8%は平成30年度38.6%より2.8ポイント減少しています。令和2、3年度においては、新型コロナウイルスの影響により、受診率の減少があったが、令和4年度においては、受診率が回復傾向にあります。 令和4年度の特定保健指導実施率26.2%は平成30年度37.7%より11.5ポイント減少しています。令和2、3年度においては、新型コロナウイルスの影響により、実施率の減少があったが、令和4年度においては、実施率が回復傾向にあります。
疾病別医療費 【大分類】 (P32~33)	令和4年度の入院医療費では、「循環器系の疾患」が最も高く、17.4%を占めています。次いで新生物<腫瘍>14.5%、精神及び行動の障害が13.8%となっています。 令和4年度の外来医療費では、「新生物<腫瘍>」が最も高く、17.6%を占めています。次いで内分泌、栄養及び代謝疾患が13.8%、循環器系の疾患が11.7%となっています。
疾病別医療費 【細小分類】 (P34)	令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費第1位は「慢性腎臓病(透析あり)」で、総医療費の6.0%を占めています。次いで糖尿病が5.6%、関節疾患が4.0%となっています。
生活習慣病医療費 透析患者の状況 (P37、P41)	生活習慣病等疾病別医療費では、「がん」が最も多く16.5%、次いで「筋・骨格」8.7%、「精神」が7.7%を占めています。 被保険者に占める透析患者の割合は0.44%で県、同規模、国と比べて高い状況となっています。
特定健康診査の検査 項目別の有所見者 (P43~44)	令和4年度健診受診者全体では、HbA1cの有所見者割合が最も高く、健診受診者の49.0%を占めています。年齢階層別にみると、40歳~64歳ではLDLコレステロール、65歳~74歳ではHbA1cの有所見者割合が最も高くなっています。 メタボリックシンドローム該当状況では、予備群は12.7%、該当者は17.4%です。また、血糖、血圧、脂質の3項目すべての追加リスクを持っている該当者は4.3%です。
ジェネリック医薬品普 及率 (P47)	国の指標であるジェネリック医薬品普及率(数量ベース)において、令和4年度を平成30年度と比較すると、令和4年度78.9%は、平成30年度70.9%より8.0ポイント増加しています。

2.分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

以下は、分析結果から明らかとなった健康課題と、健康課題に対して本計画で目指す姿(目的)、その目的を達成するための目標を示したものです。

項目	健康課題	優先する健康課題	対応する保健事業番号	データヘルス計画全体における目的
A	生活習慣病 ・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目において、有所見者割合が高い項目がある。 ・医療費及び患者数上位において、生活習慣に関する疾病が多くを占めている。一方で、生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。 ・透析患者のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から透析に至った患者が最も多い。	1	①②③④	生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防 レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。
B	医療費、受診行動 ・令和4年度の後発医薬品の使用割合は78.9%である。 ・受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。	2	⑤⑥	医療費適正化と適正受診・適正服薬 後発医薬品(ジェネリック)の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用を図る。

個別の保健事業については「3.健康課題を解決するための個別の保健事業」に記載

以下は、前頁に挙げた健康課題に対して令和6年度以降取り組む、各保健事業の評価指標(アウトカム指標)を示したものです。神奈川県が各保険者の実績等を比較し、効果的な保健事業に活用するために設定した県共通指標※が含まれます。

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

評価指標	計画策定時 実績 令和4年度	目標値					
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査受診率※ 【事業番号①】	35.8%	36.0%	37.0%	37.5%	38.0%	39.0%	40.0%
特定健康診査受診率(40~49歳)※ 【事業番号①】	15.3%	15.5%	15.6%	15.7%	15.8%	15.9%	16.0%
特定保健指導終了者率※ 【事業番号②】	26.2%	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
特定保健指導対象者の減少率※ 【事業番号②】	43.5%	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%	46.0%	46.5%
HbA1c8.0%以上の者の人数※ 【事業番号③】	7人	6人	5人	4人	3人	2人	1人
HbA1c8.0%以上の者の割合※ 【事業番号③】	0.46%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%
特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者の人数※ 【事業番号③】	61人	60人	57人	55人	52人	50人	48人
特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者の割合※ 【事業番号③】	1.45%	1.4%	1.3%	1.2%	1.1%	1.0%	0.9%
新規透析患者数 【事業番号④】	5人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
後発医薬品使用割合(数量ベース) 【事業番号⑤】	78.4%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
適正受診・適正服薬の勧奨後に受診行動の変化が見られた方の割合 【事業番号⑥】		25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%

※神奈川県共通指標

3.健康課題を解決するための個別の保健事業

(1)保健事業一覧

以下は、分析結果に基づく健康課題への対策の検討結果を踏まえ、第3期データヘルス計画にて実施する事業一覧を示したものです。

事業番号	事業名称	事業概要	区分
①	特定健康診査未受診者対策	<p>特定健康診査の受診勧奨をすることで、特定健康診査受診率を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診動向等による効果的な受診勧奨の実施 ・受診券封筒やポスターにおいて、更なる周知を実施 	継続
②	特定保健指導未利用者対策	<p>特定保健指導の利用勧奨、未利用者への指導等を行うことで、特定保健指導の終了者率を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話勧奨にて直接話ができる体制を継続 ・電話が繋がらない方には訪問等アプローチ方法を検討 ・経年でかかわるケースについては、特定保健指導の実施だけでなく、電話や文書指導を行い、健康状態の把握及び生活改善についての提案を行う。 	継続
③	重症化予防事業(糖尿病)	<p>特定保健指導の利用を勧奨することで、「HbA1c8.0%以上の者の人数・割合」を減少させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者に保健指導・受診勧奨を実施 ・面接、電話、文書で保健指導を実施 <p>特定健康診査の利用を勧奨することで「特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者の人数・割合」を減少させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KDBシステムで対象者リストを作成し、対象者に特定健康診査の利用勧奨を実施 	継続
④	重症化予防事業(CKD)	<p>特定保健指導の利用を勧奨することで、新規透析患者0人を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者に保健指導・受診勧奨を実施 ・面接、電話、文書で保健指導実施 	新規
⑤	ジェネリック医薬品(後発医薬品)利用促進事業	<p>対象者への勧奨、広く周知等することで、ジェネリック医薬品の使用割合を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の差額通知を送付 ・保険税決定通知書に、ジェネリック医薬品の希望カードを記載した国民健康保険のしおりを同封 ・ホームページでの周知 	継続
⑥	適正受診・適正服薬事業	<p>対象者への勧奨をすることで、適正受診・適正服薬への行動変化につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該対象者に医療機関への適正受診を促す通知文書を年1回郵送 ・勧奨後のレセプトデータを確認し、効果の検証 ・通知後に改善が見られなかった対象者への再勧奨通知の送付 	新規

(2)各事業の実施内容と評価方法

各事業における実施内容及び評価方法の詳細は以下のとおりです。

事業番号:A-① 特定健康診査未受診者対策

事業の目的	特定健康診査未受診者対策
対象者	特定健康診査受診対象者
現在までの事業結果	特定健康診査受診率:令和4年度35.8%

今後の目標

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

指標	評価指標	計画策定時実績	目標値					
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
アウトカム(成果)指標	特定健康診査受診率※	35.8%	36.0%	37.0%	37.5%	38.0%	39.0%	40.0%
	特定健康診査受診率(40～49歳)※	15.3%	15.5%	15.6%	15.7%	15.8%	15.9%	16.0%
アウトプット(実施量・率)指標	未受診者に対する受診勧奨割合	45.6%	47.0%	48.0%	49.0%	50.0%	51.0%	52.0%

※神奈川県共通指標

目標を達成するための主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の低い世代に対し健康意識を高めるため、新規受診、再受診、継続受診の促進を図る。 ・医師会との連携を図っていく。
----------------	--

現在までの実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査期間終了後に受診勧奨ハガキを送付し、来年度に向けて特定健康診査の受診勧奨を実施 ・医師会との連携を図る。
--

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・受診動向等による効果的な受診勧奨の実施 ・受診券封筒やポスターにおいて、更なる周知を実施
--

現在までの実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連絡調整、事業計画作成等を担当している。
--

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連絡調整、事業計画作成等を担当する。 ・福祉保険課と連携しながら、課題を共有する。
--

評価計画

<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標「特定健康診査受診率」は、法定報告における「特定健康診査受診者数」を「特定健康診査対象者数」で除して求める。受診率が高ければ、特定健康診査でメタボリックシンドローム該当者の早期発見ができるため、特定健康診査の効果が上がることを意味する。 ・アウトプット指標「未受診者に対する受診勧奨割合」は「受診勧奨を行った者の人数」を「当該年度の健診未受診者数」で除して求める。

事業番号:A-② 特定保健指導未利用者対策

事業の目的	特定保健指導未利用者対策
対象者	特定保健指導対象者
現在までの事業結果	特定保健指導終了者率:令和4年度26.2%

今後の目標

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

指標	評価指標	計画策定時実績	目標値					
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
アウトカム(成果)指標	特定保健指導終了者率※	26.2%	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
	特定保健指導対象者の減少率※	43.5%	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%	46.0%	46.5%
アウトプット(実施量・率)指標	保健指導未利用者への指導実施率	48.0%	48.5%	49.0%	49.5%	50.0%	50.5%	51.0%

※神奈川県共通指標

目標を達成するための主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導対象者全員に利用勧奨を継続していく。 ・経年でフォローを行い、きめ細かい支援を行っていく。 ・医師会との連携を図っていく。
----------------	--

現在までの実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の結果から、受診月翌月に対象者を抽出 ・文書および電話での利用勧奨を実施
--

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の結果から、受診月翌月に対象者を抽出 ・文書での勧奨通知で、面接希望をする方は少ないため、電話勧奨にて直接話ができる体制を継続していく。 ・電話がつかない方には訪問等、アプローチ方法を検討していく。 ・経年でかかわるケースについては、特定保健指導の実施だけでなく、電話や文書指導を行い、健康状態の把握及び生活改善についての提案を行えるようにしていく。

現在までの実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当している。
--

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当する。 ・福祉保険課と連携しながら、課題を共有する。
--

評価計画

<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標「特定保健指導終了者率」は、法定報告における「特定保健指導終了者数」を「特定保健指導対象者数」で除して求める。終了者率が高ければ、メタボリックシンドローム該当者等に適切な保健指導が実施できるため、特定保健指導の効果が上がることを意味する。 ・アウトカム指標「特定保健指導対象者の減少率」は、「昨年度の保健指導利用者から今年度は特定保健指導の対象者ではなくなった者の数」を「昨年度の特定保健指導利用者数」で除して求める。減少率が高ければ、昨年度の保健指導の効果が表れていることを意味する。 ・アウトプット指標「保健指導未利用者への指導実施率」は「保健指導未利用者への指導実施者数」を「特定保健指導対象者数」で除して求める。
--

事業番号:A-③ 重症化予防事業(糖尿病)

事業の目的	重症化予防事業(糖尿病)
対象者	・特定健康診査受診者で、HbA1c6.0%以上の者 ・特定健康診査未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者
現在までの事業結果	特定健康診査受診者で、 ①「HbA1c6.5%以上の者」の保健指導利用率:令和4年度12.3% ②「HbA1c6.0%以上6.5%未満の者」の保健指導利用率:令和4年度14.0%

今後の目標

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

指標	評価指標	計画策定時実績	目標値					
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
アウトカム(成果)指標	HbA1c8.0%以上の者の人数※	7人	6人	5人	4人	3人	2人	1人
	HbA1c8.0%以上の者の割合※	0.46%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%
	特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者の人数※	61人	60人	57人	55人	52人	50人	48人
	特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者の割合※	1.45%	1.4%	1.3%	1.2%	1.1%	1.0%	0.9%
アウトプット(実施量・率)指標	保健指導利用勧奨率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※神奈川県共通指標

目標を達成するための主な戦略	・受診勧奨は、通知文書及び電話により行っていく。 ・医師会との連携を図っていく。
----------------	---

現在までの実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診者から血糖検査が保健指導判定値以上の者の対象者を抽出 ・特定健康診査において、血糖検査が保健指導判定値以上の者に保健指導の利用勧奨 ・HbA1c6.0%からHbA1c6.5%未満の希望者には保健指導及び集団運動教室の実施 ・HbA1c6.5%以上の者には保健指導及び集団運動教室の実施 ・KDBシステムで「特定健康診査未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者」のリストを作成し、対象者に特定健康診査の利用勧奨を実施
--

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診者から血糖検査が保健指導判定値以上の者の対象者を抽出 ・特定健康診査において、血糖検査が保健指導判定値以上の者に保健指導の利用勧奨 ・HbA1c6.0%からHbA1c6.5%未満の希望者には保健指導及び集団運動教室の実施 ・HbA1c6.5%以上の者には保健指導及び集団運動教室の実施 ・KDBシステムで「特定健康診査未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者」のリストを作成し、対象者に特定健康診査の利用勧奨を実施
--

現在までの実施体制(ストラクチャー)

・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当している。
--

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当する。 ・福祉保険課と連携しながら、課題を共有する。
--

評価計画

<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標「HbA1c8.0%以上の者の割合」は、「HbA1cの値が8.0%以上の者の数」を「特定健康診査受診者のうち、HbA1cの検査結果がある者の数」で除して求める。 ・アウトカム指標「特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している者の人数・割合」はKDBシステムで確認する。 ・アウトプット指標「保健指導利用勧奨率」は、「保健指導の利用勧奨をした者の人数」を「HbA1c6.0%以上の者の人数」で除して求める。

事業番号:A-④ 重症化予防事業(CKD)

事業の目的	重症化予防事業(CKD)
対象者	特定健康診査受診者で、e-GFR50.0未満の者
現在までの事業結果	保健指導利用勧奨率:令和4年度91.4%

今後の目標

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

指標	評価指標	計画策定時実績	目標値					
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
アウトカム(成果)指標	新規透析患者数	5人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
アウトプット(実施量・率)指標	保健指導利用勧奨率	91.4%	92.0%	92.5%	93.0%	93.5%	94.0%	94.5%

目標を達成するための主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・電話及び文書指導を中心に受診勧奨を実施し、希望者には面接を実施 ・医師会との連携を図っていく。
----------------	---

現在までの実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の結果から、受診月翌月に対象者を抽出 ・対象者に保健指導・受診勧奨を実施 ・面接、電話、文書で保健指導を実施

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の結果から、受診月翌月に対象者を抽出 ・対象者に保健指導・受診勧奨を実施 ・面接、電話、文書で保健指導を実施 ・人工透析に至った起因疾患や、当該患者への保健指導の実施状況等も確認し、保健事業との相関を分析する。

現在までの実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当している。
--

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・健康課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当する。 ・福祉保険課と連携しながら、課題を共有する。
--

評価計画

<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標「新規透析患者数」は、KDBシステム等を活用し、新規に透析を開始した者の数を計上する。新規患者数が少なければ、健康寿命の延伸や、1人当たり年間500万円程度の医療費を抑制したことを意味する。 ・アウトプット指標「保健指導利用勧奨率」は、「保健指導の利用勧奨をした者の人数」を、「保健指導対象者(CKD)数」で除して求める。
--

事業番号:B-⑤ ジェネリック医薬品(後発医薬品)利用促進事業

事業の目的	ジェネリック医薬品(後発医薬品)利用促進事業
対象者	ジェネリック医薬品に切り替えることで、自己負担額の軽減が見込まれる者
現在までの事業結果	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース):令和4年度78.4%

今後の目標

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

指標	評価指標	計画策定時実績	目標値					
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
アウトカム(成果)指標	後発医薬品使用割合(数量ベース)	78.4%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
アウトプット(実施量・率)指標	対象者への勧奨通知割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

目標を達成するための主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県国民健康保険団体連合会に委託し、後発医薬品利用差額通知の作成を行う。 ・県、医師会、薬剤師会と連携し、働きかけを行う等、積極的に地域の社会資源を活用する。
----------------	---

現在までの実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額が500円以上の被保険者に年2回差額通知を送付 ・差額通知の対象薬効を2016年度に11薬効、2017年度に13薬効、2018年度には56薬効に拡大し実施 ・6月に送付する保険税決定通知書に、ジェネリック医薬品の希望カードを記載した国民健康保険のしおりを同封
--

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額が500円以上の被保険者に年2回差額通知を送付 ・6月に送付する保険税決定通知書に、ジェネリック医薬品の希望カードを記載した国民健康保険のしおりを同封 ・ホームページでの周知
--

現在までの実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉保険課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画書作成等を担当している。

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉保険課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当する。
--

評価計画

<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標「後発医薬品使用割合」は、神奈川県国保連合会から提供される帳票等を活用し、1年間の平均を確認する。後発医薬品使用割合が高ければ、後発医薬品の利用によって本町の医療費の適正化が図られたことを意味する。 ・アウトプット指標「対象者への勧奨通知割合」は「実際に通知を行った者の人数」を、「通知対象者数」で除して求める。

事業番号:B-⑥ 適正受診・適正服薬事業

事業の目的	適正受診・適正服薬事業
対象者	同一月内に3医療機関以上から同系の薬効を1以上(または2医療機関以上から2以上)の処方を受診している被保険者
現在までの事業結果	令和5年度中に、対象者を抽出し、個別通知を送付

今後の目標

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

指標	評価指標	計画策定時実績	目標値					
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
アウトカム(成果)指標	勧奨後に受診行動の変化が見られた方の割合		25%	25%	25%	25%	25%	25%
アウトプット(実施量・率)指標	対象者への勧奨通知割合		100%	100%	100%	100%	100%	100%

目標を達成するための主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者への個別通知 ・医師会等の関係機関との連携
----------------	--

現在までの実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県国民健康保険団体連合会と連携のもと、レセプトデータより対象者リストを作成 ・重複受診者及び重複投薬者への個別通知の送付 ・勧奨後のレセプトデータを確認し、効果の検証 ・通知後に改善が見られなかった対象者への再勧奨通知の送付

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県国民健康保険団体連合会と連携のもと、レセプトデータより対象者リストを作成 ・対象者に医療機関への適正受診を促す通知文書を年1回郵送 ・勧奨後のレセプトデータを確認し、効果の検証 ・通知後に改善が見られなかった対象者への再勧奨通知の送付

現在までの実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉保険課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当している。
--

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉保険課にて、予算編成、関係機関との連携調整、事業計画作成等を担当する。 ・子育て・健康課と連携し、より効果的なアプローチ方法を検討する。
--

評価計画

<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標「勧奨後に受診行動の変化が見られた方の割合」は、KDBシステム等を活用し、対象者の通知前後の受診・服薬状況を比較し、改善している者の割合を確認する。受診・服薬状況の改善割合が高ければ、受診回数・投薬数が減少し、医療費の適正化が図られたことを意味する。 ・アウトプット指標「対象者への勧奨通知割合」は「実際に通知を行った者の人数」を、「通知対象者数」で除して求める。

1.計画の評価及び見直し

(1)個別の保健事業の評価・見直し

個別の保健事業の評価は年度毎に行うことを基本として、計画策定時に設定した保健事業毎の評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認します。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったか等を確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させます。

(2)データヘルス計画全体の評価・見直し

①評価の時期

最終評価のみならず、設定した評価指標に基づき、進捗確認のため令和8年度に中間評価を行い、次期計画の円滑な策定に向けて、計画の最終年度である令和11年度上半期に仮評価を行います。

②評価方法・体制

計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価が難しいアウトカム(成果)指標を中心とした評価指標による評価を行います。また、評価に当たっては、後期高齢者医療広域連合と連携して行うなど、必要に応じ他保険者との連携・協力体制を整備します。

2.計画の公表・周知

本計画は、広報紙、ホームページ等で周知するとともに、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

3.個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとします。

第2部
第4期特定健康診査等実施計画

第1章 特定健康診査等実施計画について

1. 計画策定の趣旨

急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっています。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)により、医療保険者は被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされました。

二宮町国民健康保険においても、法第19条に基づき特定健康診査等実施計画(第1期～第3期)を策定し、特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施に努めてきました。

このたび、令和5年度に第3期特定健康診査等実施計画が最終年度を迎えることから、令和6年度を初年度とする第4期特定健康診査等実施計画を策定します。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第19条を踏まえるとともに、「健康増進計画」及び「データヘルス計画」等で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図るものとします。

3. 計画期間

計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

4.データ分析期間

■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

■健康診査データ

単年分析

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)

令和元年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

■国保データベース(KDB)システムデータ

平成30年度～令和4年度(5年分)

第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価

1. 取り組みの実施内容

以下は、特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを示したものです。

【特定健康診査】

取り組み	実施内容
特定健康診査受診率向上事業	特定健康診査の受診勧奨 ・特定健康診査期間前に、対象者に受診券を個別通知 ・受診率の低い40～60代の未受診者に対し、通知や電話による受診勧奨 ・広報紙による受診勧奨 ・特定健康診査実施期間 令和元年度まで 7月～10月 令和2年度 9月～1月 令和3年度 6月～11月 令和4年度 6月～10月

【特定保健指導】

取り組み	実施内容
特定保健指導未利用者対策事業	特定保健指導対象者への利用勧奨 ・対象者への個別通知 ・通知後、利用希望のなかった者に対し、電話にて利用勧奨 ・保健指導未利用者には適宜文書指導、電話指導を実施 ・電話が繋がらない者には、文書指導の他、訪問を実施

2. 特定健康診査の受診状況

以下は、平成20年度から令和5年度における、特定健康診査の受診状況を示したものです。

特定健康診査受診率及び目標値

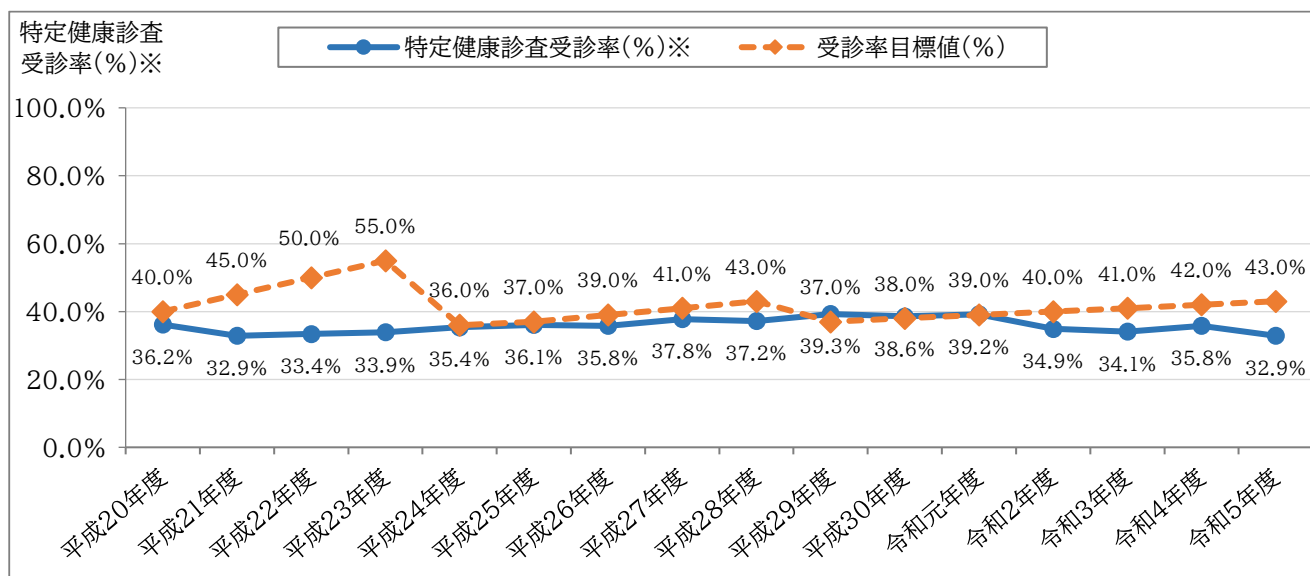
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定健康診査対象者数(人)	6,350	6,534	6,447	6,426	5,982	5,928	5,845	5,686
特定健康診査受診者数(人)	2,296	2,151	2,156	2,177	2,119	2,140	2,091	2,148
特定健康診査受診率(%)	36.2%	32.9%	33.4%	33.9%	35.4%	36.1%	35.8%	37.8%
受診率目標値(%)	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	36.0%	37.0%	39.0%	41.0%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査対象者数(人)	5,463	5,229	4,997	4,749	4,658	4,532	4,207	4,169
特定健康診査受診者数(人)	2,030	2,053	1,931	1,861	1,627	1,546	1,507	1,373
特定健康診査受診率(%)	37.2%	39.3%	38.6%	39.2%	34.9%	34.1%	35.8%	32.9%
受診率目標値(%)	43.0%	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%	41.0%	42.0%	43.0%

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者の割合

※平成20年から平成28年までの数値は第3期特定健康診査等実施計画より抜粋。平成29年度以降は法定報告値

※令和5年度は、令和6年1月22日時点

特定健康診査受診率及び目標値



※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合

※平成20年から平成28年までの数値は第3期特定健康診査等実施計画より抜粋。平成29年度以降は法定報告値

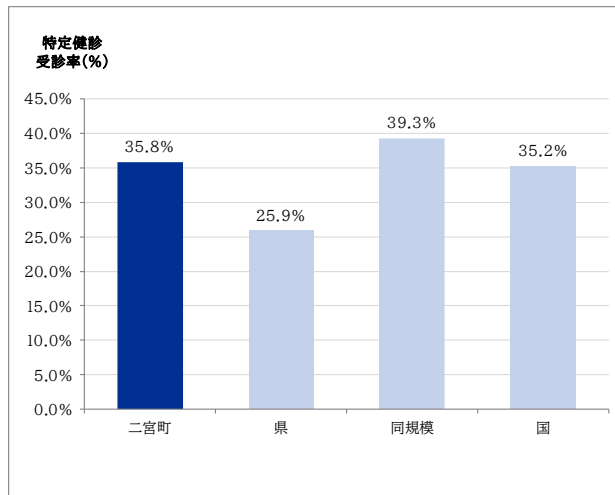
国保データベース(KDB)システムより集計した、令和4年度における、特定健康診査の受診率は以下のとおりです。

特定健康診査受診率(令和4年度)

区分	特定健診受診率
二宮町	35.8%
県	25.9%
同規模	39.3%
国	35.2%

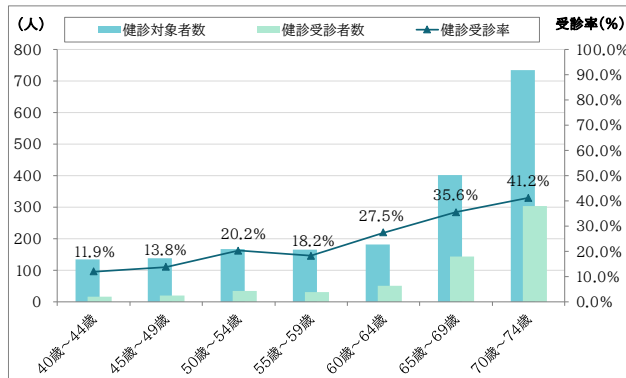
出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(令和4年度)



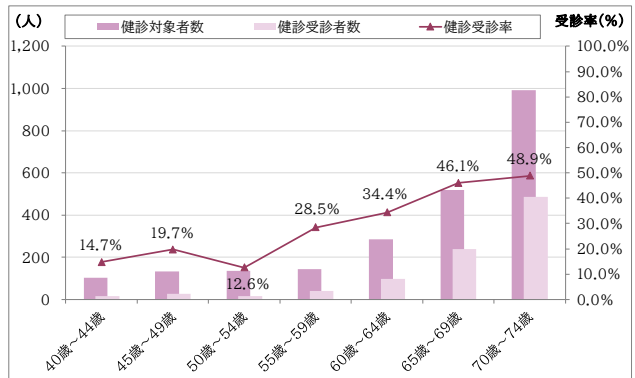
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
※令和5年3月末時点

(女性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



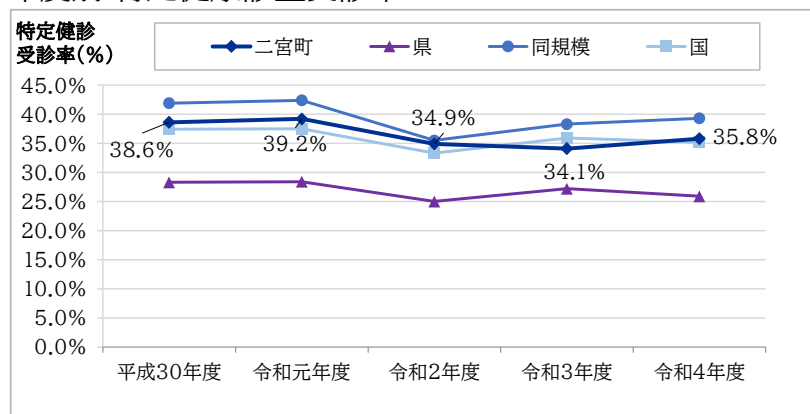
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。令和2年度、3年度においては、新型コロナウイルスの影響により受診率の減少がありました。令和4年度においては、受診率が回復傾向にあります。

年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	38.6%	39.2%	34.9%	34.1%	35.8%
県	28.3%	28.4%	25.0%	27.2%	25.9%
同規模	41.9%	42.4%	35.5%	38.3%	39.3%
国	37.4%	37.5%	33.3%	35.9%	35.2%

出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

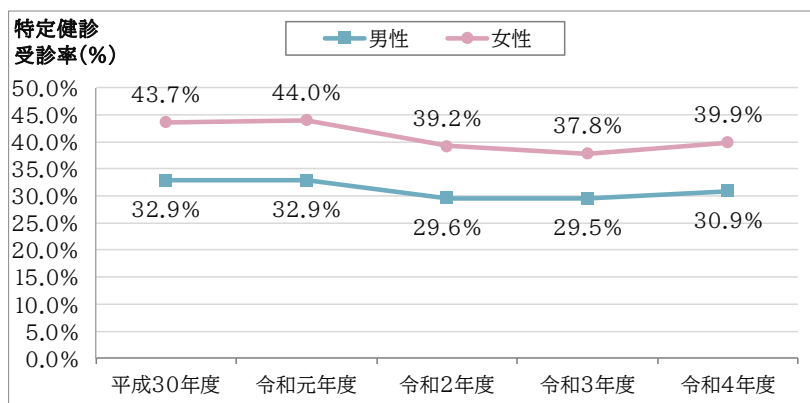
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率30.9%は平成30年度32.9%より2.0ポイント減少しており、女性の令和4年度受診率39.9%は平成30年度43.7%より3.8ポイント減少しています。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

※各年度年3月末時点

3. 特定保健指導の実施状況

以下は、平成20年度から令和5年度における、特定保健指導の実施状況を示したものです。

特定保健指導実施率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定保健指導対象者数(人)	264	223	197	200	195	165	130	182
特定保健指導実施者数(人)	89	83	88	82	72	90	56	53
特定保健指導実施率(%)	33.7%	37.2%	44.7%	41.0%	36.9%	54.5%	43.1%	29.1%
実施率目標値(%)	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	38.0%	41.0%	42.0%	43.0%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定保健指導対象者数(人)	123	153	159	139	122	124	130	100
特定保健指導実施者数(人)	73	65	60	56	28	25	34	15
特定保健指導実施率(%)	59.3%	42.5%	37.7%	40.3%	23.0%	20.2%	26.2%	15.0%
実施率目標値(%)	44.0%	55.0%	59.0%	59.0%	59.5%	59.5%	60.0%	60.0%

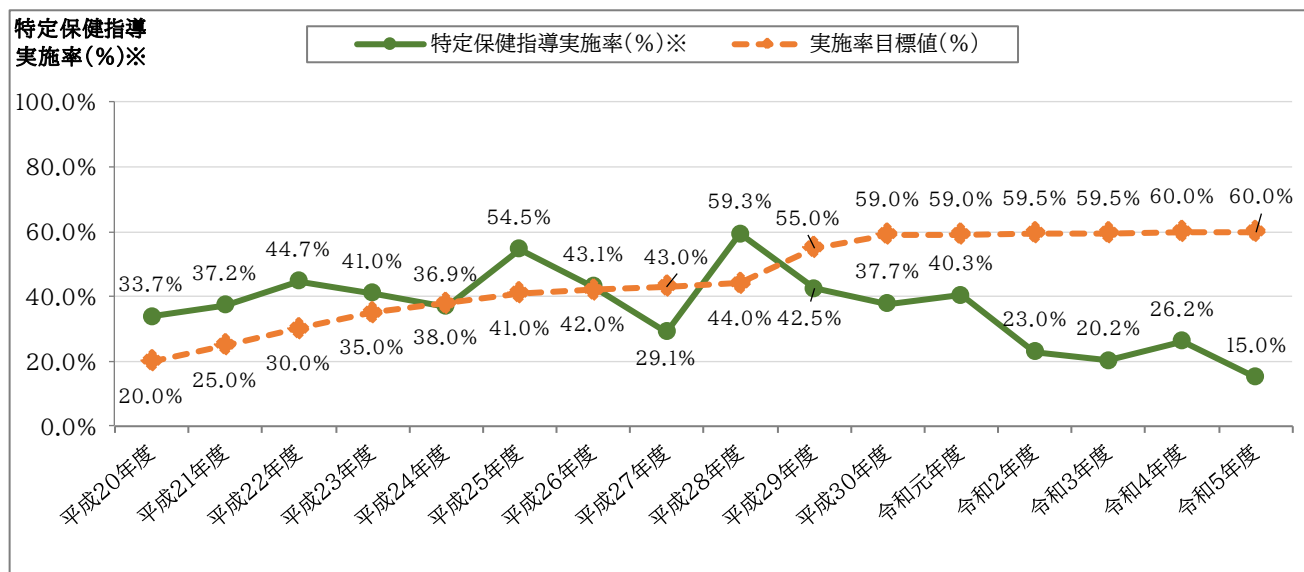
※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合

※平成20年から平成28年までの数値は第3期特定健康診査等実施計画より抜粋。平成29年度以降は法定報告値

※令和5年度は、令和6年1月末時点

特定保健指導実施率及び目標値



※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合

※平成20年から平成28年までの数値は前計画より抜粋。平成29年度以降は法定報告値

以下は、支援レベル別の特定保健指導の実施状況を示したものです。

積極的支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
積極的支援対象者数(人)	48	27	31	38	36	29	19	25
積極的支援実施者数(人)	13	8	6	6	12	13	7	6
積極的支援実施率(%)	27.1%	29.6%	19.4%	15.8%	33.3%	44.8%	36.8%	24.0%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
積極的支援対象者数(人)	24	20	20	21	16	18	19	16
積極的支援実施者数(人)	8	9	3	8	2	1	6	2
積極的支援実施率(%)	33.3%	45.0%	15.0%	38.1%	12.5%	5.6%	31.6%	12.5%

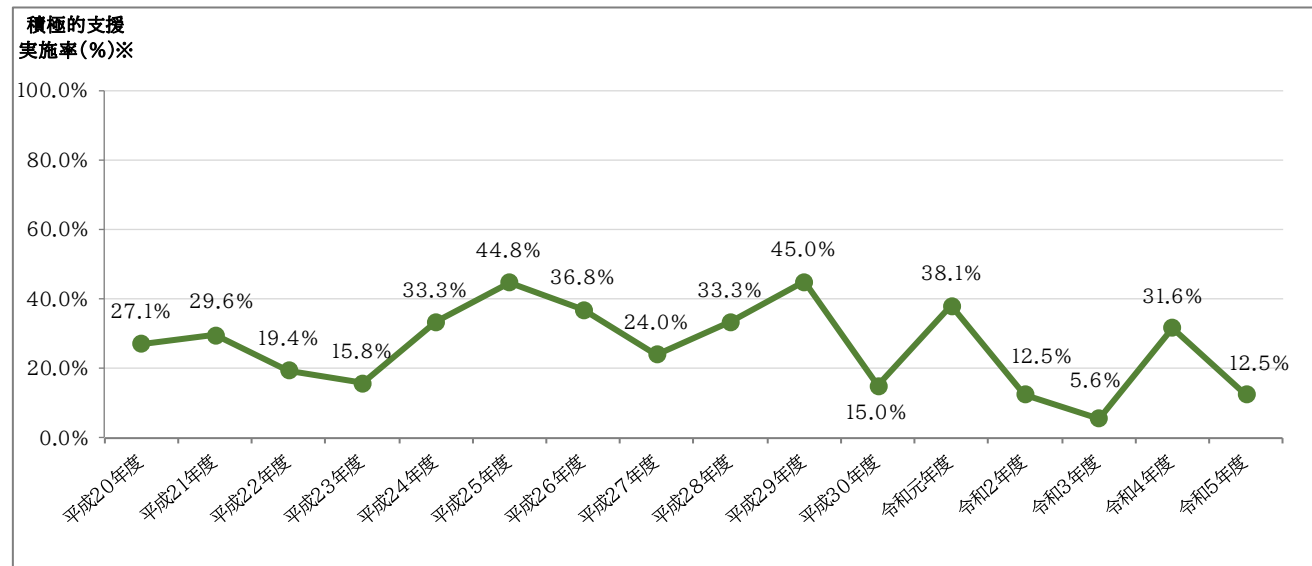
積極的支援対象者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合

※令和5年度は令和6年1月末時点

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合

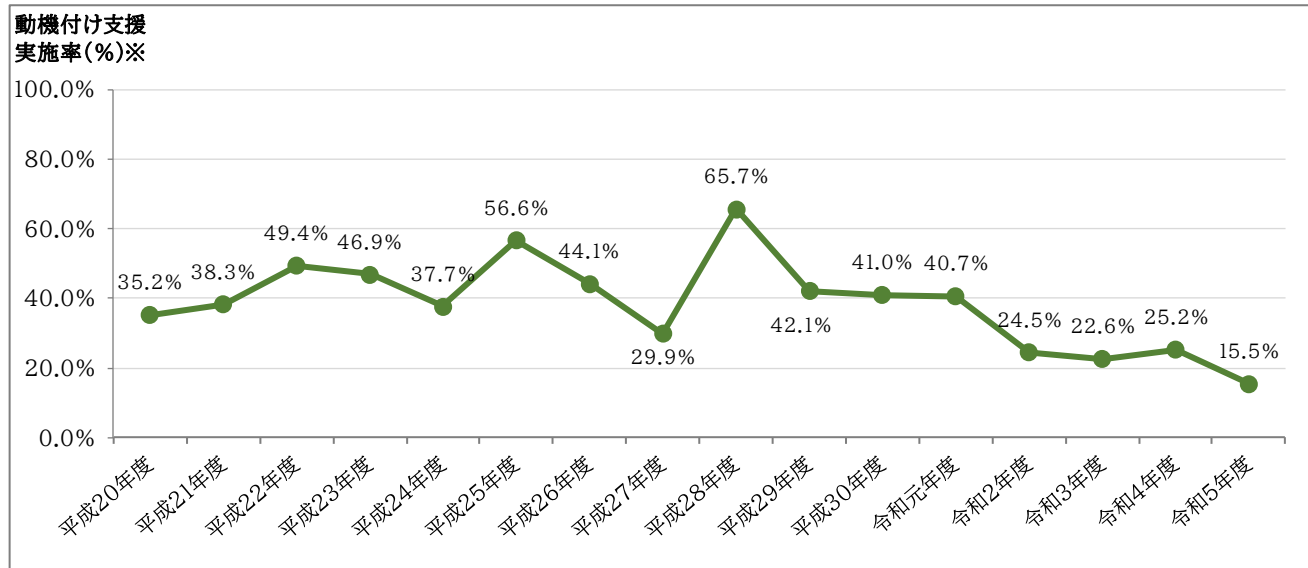
動機付け支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
動機付け支援対象者数(人)	216	196	166	162	159	136	111	157
動機付け支援実施者数(人)	76	75	82	76	60	77	49	47
動機付け支援実施率(%)	35.2%	38.3%	49.4%	46.9%	37.7%	56.6%	44.1%	29.9%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
動機付け支援対象者数(人)	99	133	139	118	106	106	111	84
動機付け支援実施者数(人)	65	56	57	48	26	24	28	13
動機付け支援実施率(%)	65.7%	42.1%	41.0%	40.7%	24.5%	22.6%	25.2%	15.5%

動機付け支援対象者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値
 ※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数
 ※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合
 ※令和5年度は令和6年1月末時点

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値
 ※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合

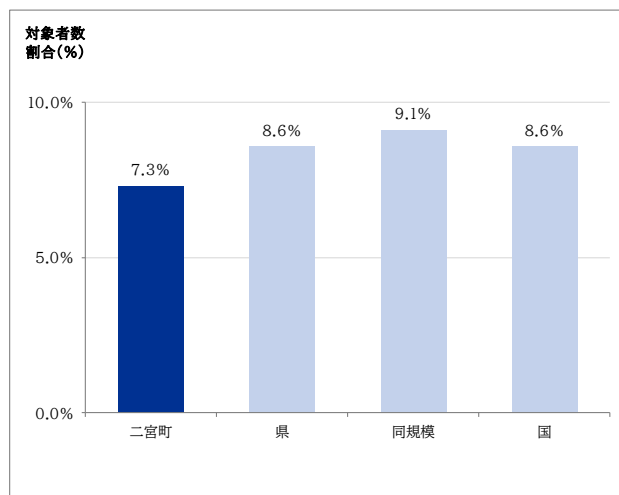
国保データベース(KDB)システムより集計した、令和4年度における、特定保健指導の実施状況は以下のとおりです。

特定保健指導実施状況(令和4年度)

区分	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
二宮町	7.3%	1.3%	8.6%	26.2%
県	8.6%	2.5%	11.0%	9.1%
同規模	9.1%	2.8%	11.9%	41.1%
国	8.6%	2.7%	11.3%	27.0%

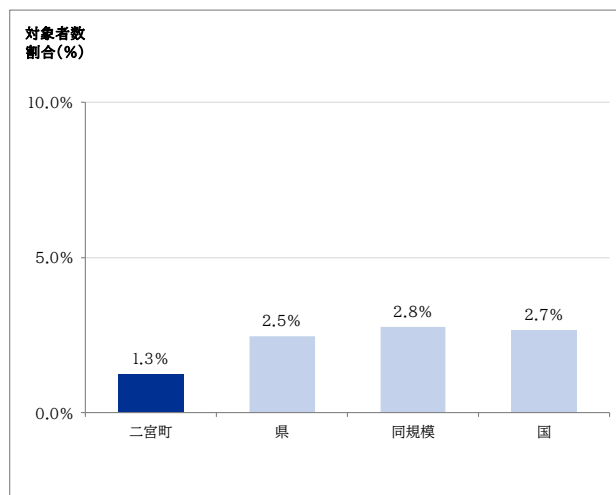
出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、令和5年3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合

動機付け支援対象者数割合(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものです。令和2年度、3年度においては、新型コロナウイルスの影響により、実施率の減少がありました。令和4年度においては、利用率が回復傾向にあります。

年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	動機付け支援対象者数割合				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	8.0%	6.8%	7.0%	6.9%	7.3%
県	9.1%	8.9%	9.0%	9.1%	8.6%
同規模	9.6%	9.5%	9.5%	9.4%	9.1%
国	9.0%	8.9%	9.0%	8.9%	8.6%

年度別 積極的支援対象者数割合

区分	積極的支援対象者数割合				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%
県	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.5%
同規模	2.8%	2.8%	2.6%	2.8%	2.8%
国	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	2.7%

年度別 支援対象者数割合

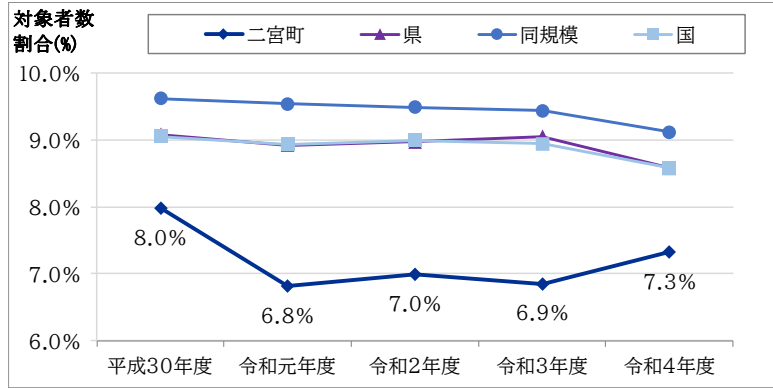
区分	支援対象者数割合				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	9.1%	8.0%	8.2%	8.0%	8.6%
県	11.5%	11.3%	11.4%	11.7%	11.0%
同規模	12.5%	12.3%	12.1%	12.2%	11.9%
国	11.8%	11.6%	11.6%	11.7%	11.3%

年度別 特定保健指導実施率

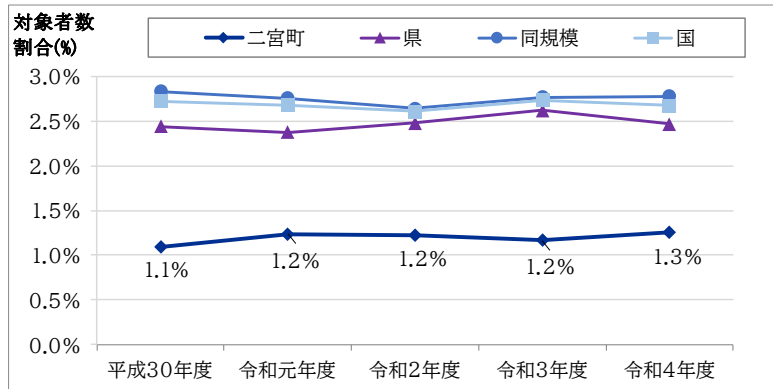
区分	特定保健指導実施率				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二宮町	37.7%	40.3%	23.0%	20.2%	26.2%
県	7.3%	7.1%	8.7%	8.4%	9.1%
同規模	37.5%	39.6%	36.9%	37.7%	41.1%
国	25.8%	26.3%	25.9%	25.9%	27.0%

出典：二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
 ※動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合

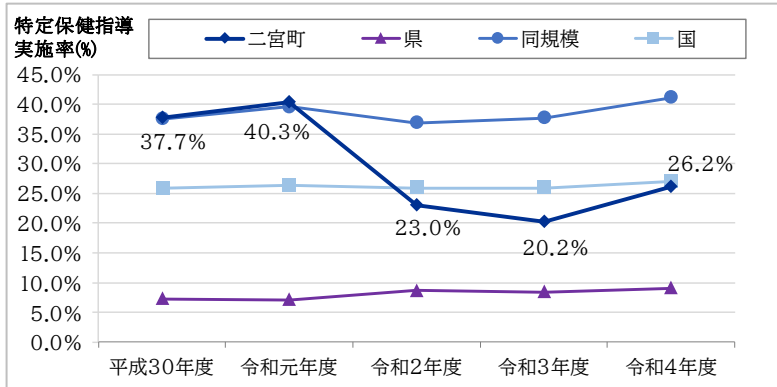
年度別 動機付け支援対象者数割合



年度別 積極的支援対象者数割合



年度別 特定保健指導実施率



出典:二宮町は法定報告値。県・同規模・国は、各年度3月末時点の国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

4.質問票調査の状況

以下は、令和4年度健康診査データにおける質問票調査の状況について、年齢階層別に示したものです。

質問票調査の状況(令和4年度)

分類	質問項目	40歳～64歳				65歳～74歳			
		二宮町	県	同規模	国	二宮町	県	同規模	国
服薬	服薬 高血圧症	21.2%	18.5%	20.4%	20.1%	42.8%	41.0%	43.4%	43.7%
	服薬 糖尿病	2.3%	4.2%	5.5%	5.3%	8.5%	8.5%	10.8%	10.4%
	服薬 脂質異常症	20.6%	16.5%	16.1%	16.5%	41.8%	34.9%	33.2%	34.3%
既往歴	既往歴 脳卒中	2.0%	2.0%	1.9%	2.0%	3.0%	3.7%	3.6%	3.8%
	既往歴 心臓病	3.5%	2.8%	3.2%	3.0%	8.0%	6.5%	6.9%	6.8%
	既往歴 慢性腎臓病・腎不全	0.0%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.8%	0.9%	0.9%
	既往歴 貧血	14.5%	16.3%	13.8%	14.2%	8.1%	10.5%	9.1%	9.3%
喫煙	喫煙	12.5%	17.5%	19.7%	18.9%	7.4%	9.7%	10.2%	10.2%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	34.6%	35.8%	39.3%	37.8%	31.8%	32.2%	34.0%	33.2%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	64.0%	65.9%	70.0%	68.8%	46.9%	51.8%	55.6%	55.4%
	1日1時間以上運動なし	44.6%	47.5%	48.8%	49.3%	46.5%	44.1%	46.9%	46.7%
	歩行速度遅い	49.0%	47.0%	55.5%	53.0%	41.4%	43.1%	51.0%	49.4%
食事	食べる速度が速い	23.8%	29.7%	30.3%	30.7%	23.1%	23.5%	24.2%	24.6%
	食べる速度が普通	69.6%	61.3%	61.9%	61.1%	69.2%	68.9%	68.0%	67.6%
	食べる速度が遅い	6.7%	9.0%	7.7%	8.2%	7.7%	7.7%	7.8%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	17.4%	21.7%	20.1%	21.1%	8.6%	11.0%	12.1%	12.1%
	週3回以上朝食を抜く	15.4%	20.3%	17.7%	19.0%	4.0%	6.8%	5.3%	5.9%
飲酒	毎日飲酒	19.7%	23.7%	23.4%	24.3%	23.7%	24.7%	23.7%	24.7%
	時々飲酒	27.5%	28.1%	24.3%	25.3%	19.7%	23.8%	20.4%	21.1%
	飲まない	52.8%	48.2%	52.3%	50.4%	56.6%	51.5%	55.9%	54.2%
	1日飲酒量(1合未満)	78.6%	63.3%	60.7%	60.9%	80.5%	69.9%	67.5%	67.6%
	1日飲酒量(1～2合)	14.4%	22.8%	23.8%	23.0%	14.6%	22.2%	23.5%	23.1%
	1日飲酒量(2～3合)	4.7%	9.7%	11.1%	11.2%	4.0%	6.7%	7.6%	7.8%
	1日飲酒量(3合以上)	2.3%	4.2%	4.4%	4.8%	0.9%	1.2%	1.4%	1.5%
睡眠	睡眠不足	27.3%	26.9%	29.3%	28.4%	20.5%	21.5%	24.2%	23.4%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	23.8%	20.9%	24.0%	23.0%	28.2%	27.5%	29.7%	29.3%
	改善意欲あり	33.6%	33.5%	31.9%	32.9%	25.2%	25.8%	25.7%	26.0%
	改善意欲ありかつ始めている	15.4%	15.7%	16.1%	16.4%	12.2%	12.0%	13.0%	13.0%
	取り組み済み6ヶ月未満	9.9%	10.8%	10.0%	10.0%	10.5%	9.5%	8.4%	8.6%
	取り組み済み6ヶ月以上	17.4%	19.2%	18.0%	17.8%	23.9%	25.4%	23.3%	23.1%
	保健指導利用しない	62.6%	56.8%	66.5%	62.4%	67.6%	60.8%	64.6%	62.9%
咀嚼	咀嚼 何でも	85.2%	83.7%	83.4%	83.8%	80.3%	78.6%	76.1%	77.0%
	咀嚼 かみにくい	13.6%	15.5%	15.9%	15.4%	19.3%	20.7%	23.0%	22.1%
	咀嚼 ほとんどかめない	1.2%	0.7%	0.7%	0.7%	0.3%	0.6%	0.9%	0.8%
間食	3食以外間食 毎日	24.1%	24.3%	23.8%	23.8%	21.4%	20.7%	20.7%	20.8%
	3食以外間食 時々	59.4%	55.9%	56.3%	55.3%	57.6%	59.2%	59.2%	58.4%
	3食以外間食 ほとんど摂取しない	16.5%	19.8%	19.9%	20.9%	21.0%	20.0%	20.1%	20.8%

分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		二宮町	県	同規模	国
服薬	服薬 高血圧症	37.8%	34.3%	37.1%	36.8%
	服薬 糖尿病	7.1%	7.2%	9.4%	8.9%
	服薬 脂質異常症	37.0%	29.4%	28.4%	29.1%
既往歴	既往歴 脳卒中	2.8%	3.2%	3.2%	3.3%
	既往歴 心臓病	6.9%	5.4%	5.9%	5.7%
	既往歴 慢性腎臓病・腎不全	0.5%	0.7%	0.8%	0.8%
	既往歴 貧血	9.5%	12.2%	10.4%	10.7%
喫煙	喫煙	8.5%	12.0%	12.8%	12.7%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	32.4%	33.3%	35.5%	34.6%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	50.8%	56.0%	59.6%	59.3%
	1日1時間以上運動なし	46.1%	45.1%	47.4%	47.5%
	歩行速度遅い	43.2%	44.3%	52.3%	50.4%
食事	食べる速度が速い	23.3%	25.3%	25.9%	26.4%
	食べる速度が普通	69.2%	66.6%	66.3%	65.7%
	食べる速度が遅い	7.5%	8.1%	7.8%	7.9%
	週3回以上就寝前夕食	10.6%	14.2%	14.3%	14.7%
	週3回以上朝食を抜く	6.6%	10.8%	8.7%	9.7%
飲酒	毎日飲酒	22.8%	24.4%	23.6%	24.6%
	時々飲酒	21.5%	25.1%	21.5%	22.3%
	飲まない	55.7%	50.5%	54.9%	53.1%
	1日飲酒量(1合未満)	80.1%	67.9%	65.6%	65.6%
	1日飲酒量(1～2合)	14.5%	22.3%	23.6%	23.1%
	1日飲酒量(2～3合)	4.2%	7.6%	8.6%	8.8%
1日飲酒量(3合以上)	1.2%	2.1%	2.2%	2.5%	
睡眠	睡眠不足	22.1%	23.1%	25.6%	24.9%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	27.2%	25.5%	28.1%	27.5%
	改善意欲あり	27.2%	28.1%	27.4%	28.0%
	改善意欲ありかつ始めている	12.9%	13.1%	13.8%	14.0%
	取り組み済み6ヶ月未満	10.3%	9.9%	8.8%	9.0%
	取り組み済み6ヶ月以上	22.4%	23.5%	21.8%	21.6%
	保健指導利用しない	66.5%	59.6%	65.1%	62.8%
咀嚼	咀嚼 何でも	81.5%	80.2%	78.1%	79.0%
	咀嚼 かみにくい	18.0%	19.2%	21.1%	20.2%
	咀嚼 ほとんどかめない	0.5%	0.6%	0.8%	0.8%
間食	3食以外間食 毎日	22.0%	21.8%	21.5%	21.7%
	3食以外間食 時々	58.0%	58.2%	58.4%	57.5%
	3食以外間食 ほとんど摂取しない	20.0%	20.0%	20.1%	20.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「質問票調査の状況」

5. 第3期特定健康診査等実施計画の評価と考察

(1) 現状のまとめと目標に対する達成状況

分類	指標	状況
特定健康診査	【アウトプット】 受診対象者に受診券等を個別通知する割合	平成30年度から令和4年度まで100%達成
	【アウトカム】 特定健康診査受診率	令和4年度:35.8%
特定保健指導	【アウトプット】 特定保健指導未利用者に対して利用勧奨する割合	平成30年度から令和4年度まで100%達成
	【アウトカム】 特定保健指導実施率	令和4年度:26.2%

(2) 事業実施体制の評価

分類	状況
特定健康診査	<p>受診率の低い世代に対し健康意識を高めるため、新規受診、再受診、継続受診の促進を図った。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で令和3年度から、特定健康診査期間終了後に受診勧奨のハガキを送付し、来年度に向けて受診を勧奨している。年度内での受診にはつながらないが、次年度の受診勧奨を行うことで、健康意識向上を図った。</p> <p>対象者全員に受診券及び案内文を送付する体制は、健診を視覚的に認識できる機会となった。特定健康診査の自己負担額については、課税世帯と非課税世帯で差額があったが、令和3年度より非課税世帯の金額に統一し、課税世帯の受診促進を図った。</p> <p>実施期間については、新型コロナウイルスの影響に左右された時期もあるが、従来7月から10月までであった特定健康診査実施期間を、令和3年度より、6月から10月までと1か月延長することができたことは、受診機会の確保につながった。</p> <p>なお、令和3年度においては、新型コロナウイルスによる受診率低迷により、終了月を11月までとし、1か月延長した。</p>
特定保健指導	<p>保健指導の未利用者への利用勧奨について、個別通知で対象者全員に勧奨することができた。保健指導未利用者には、文書指導や電話指導を行うことで、生活状況の把握を行い、少しでも健康管理に役立つ情報を提供した。</p> <p>健康づくりステーション「未病センターにのみや」の利用を促すことで面接指導につながるケースや、定期的に利用を勧めることで、きめ細やかな支援が実現できるなど、個人の健康習慣の獲得にもつながった。</p> <p>令和2、3年度は、新型コロナウイルスの影響で訪問によるフォローは実施できなかった。</p>

第3章 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

以下は、特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を示したものです。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の60.3%です。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の41.0%です。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	1,515	32.5%	102,894	65,941,600	66,044,494
健診未受診者	3,145	67.5%	4,837,694	119,916,874	124,754,568
合計	4,660		4,940,588	185,858,474	190,799,062

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	23	1.5%	913	60.3%	913	60.3%	4,474	72,225	72,338
健診未受診者	93	3.0%	1,283	40.8%	1,289	41.0%	52,018	93,466	96,784
合計	116	2.5%	2,196	47.1%	2,202	47.3%	42,591	84,635	86,648

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

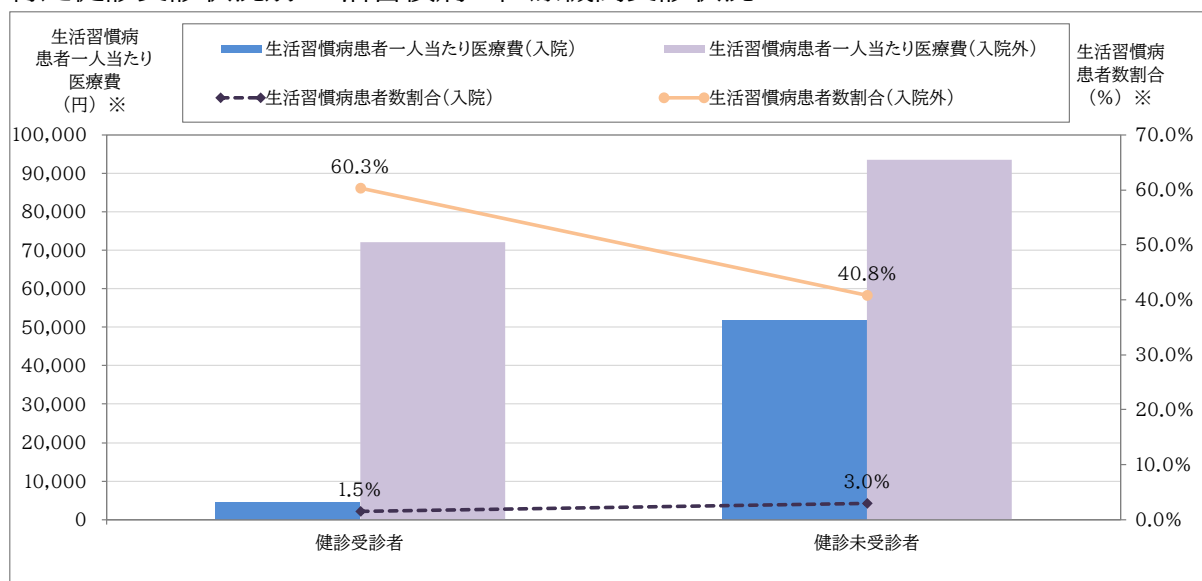
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区別なく集計した実人数

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費

※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合

第4章 特定健康診査等実施計画

1.目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)を達成することとしています。本町においては、町の実績に基づき、各年度の目標値を以下のとおり設定します。

目標値

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査受診率(%)	36.0%	37.0%	37.5%	38.0%	39.0%	40.0%
特定健康診査受診率(40~49歳)	15.5%	15.6%	15.7%	15.8%	15.9%	16.0%
特定保健指導終了者率(%)	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
特定保健指導対象者の減少率(%)※	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%	46.0%	46.5%

※特定保健指導対象者の減少率…国の指標とは異なる県の指標を元に設定

県指標 = 「昨年度の保健指導利用者から今年度は特定保健指導の対象者ではなくなった者の数」 / 「昨年度の特定保健指導利用者数」

2.対象者数推計

(1)特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

以下は、令和6年度から令和11年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示したものです。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査対象者数(人)	4,436	4,173	3,977	3,821	3,744	3,603
特定健康診査受診率(%) (目標値)	36.0%	37.0%	37.5%	38.0%	39.0%	40.0%
特定健康診査受診者数(人)	1,597	1,544	1,491	1,452	1,460	1,441

※法定報告値の算出方法とは異なり、年度中の国民健康保険の資格喪失者を含む

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査対象者数(人)	40歳~64歳	1,780	1,707	1,666	1,634	1,616	1,556
	65歳~74歳	2,656	2,466	2,311	2,187	2,128	2,047
特定健康診査受診者数(人)	40歳~64歳	449	458	461	465	479	481
	65歳~74歳	1,148	1,086	1,030	987	981	960

(2) 特定保健指導対象者数及び終了者数の見込み

以下は、令和6年度から令和11年度までの特定保健指導対象者数及び終了者数について、各年度の見込みを示したものです。

特定保健指導対象者数及び終了者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導対象者数(人)	142	139	136	133	134	133
特定保健指導終了者率(%) (目標値)	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
特定保健指導終了者数(人)	43	43	44	44	46	47

※法定報告値の算出方法とは異なり、年度中の国民健康保険の資格喪失者を含む

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び終了者数の見込み

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
積極的支援	対象者数(人)	40歳～64歳	30	31	31	31	32	32
	終了者数(人)	40歳～64歳	8	9	11	11	11	12
動機付け支援	対象者数(人)	40歳～64歳	37	37	37	37	38	38
		65歳～74歳	75	71	68	65	64	63
	終了者数(人)	40歳～64歳	12	12	12	12	14	14
		65歳～74歳	23	22	21	21	21	21

3.実施方法

(1)特定健康診査

①対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)で、かつ、受診日時点で被保険者である者を対象とします。ただし、妊産婦、刑務所入所中、海外在住、長期入院等、厚生労働省告示で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとします。

②実施方法

ア.実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施します。

イ.実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施します。

■基本的な健診項目(全員に実施)

項目	内容
質問項目	標準的な質問票
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲(内臓脂肪面積)
理学的所見	身体診察
血圧測定	血圧
脂質検査	空腹時中性脂肪(やむを得ない場合には随時中性脂肪)、HDLコレステロール、LDLコレステロールまたはNon-HDLコレステロール
肝機能検査	AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)
血糖検査	空腹時血糖またはHbA1c、やむを得ない場合には随時血糖
尿検査	尿糖、尿蛋白

■詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)

項目	内容
心電図検査	心電図
貧血検査	赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値
血清クレアチニン検査	eGFRによる腎機能の評価を含む

ウ.実施時期

6月から10月に実施します。

エ.案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送します。また、広報紙やホームページ等で周知を図ります。

(2)特定保健指導

①対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出します。ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととします。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施します。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≧85cm(男性) ≧90cm(女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外でBMI ≧25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c(NGSP値)5.6%以上

(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:空腹時中性脂肪150mg/dl以上(やむをえない場合は随時中性脂肪175mg/dl以上) または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

②実施方法

ア.実施内容

保有するリスクの数に応じて階層化された保健指導対象者に対し、個々の生活習慣の改善に主眼を置いた保健指導を実施します。第4期計画期間においては、特定保健指導の質の向上、対象者の利便性の向上及び負担軽減を目的として、「評価体系の見直し(アウトカム評価の導入)」、「特定健診実施後の特定保健指導の早期初回面接実施の促進」等が国の指針として示されています。これらを踏まえ、保健指導の効果的・効率的な実施に努めるものとします。

動機付け支援

支援内容	対象者本人が、自分の生活習慣の改善点・延ばすべき行動等に気付き、自ら目標を設定し行動に移すことができるように、対象者の個別性に応じた指導や情報提供等を行う。
支援形態	○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援 ○中間評価 初回面接から2カ月後を目安に、電話にて、身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを確認し、目標値の中間評価を実施。
実績評価	○4カ月以上経過後の評価 設定した行動目標が達成されているか、並びに身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを評価する。面接または電話等を利用して行う。

積極的支援

支援内容	特定健康診査の結果から、対象者本人が身体状況を理解し、生活習慣改善の必要性を認識し、具体的に実践可能な行動目標を自らが設定できるように行動変容を促す。 対象者の過去の生活習慣及び行動計画の実施状況を踏まえて目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に支援する。
支援形態	○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援 ○中間評価前のフォロー 初回面接から2カ月後を目安に、電話にて、身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを確認する。 ○中間評価 初回面接から3カ月後を目安に、電話にて、身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを確認し、目標値の中間評価を実施。
実績評価	○4カ月以上経過後の評価 設定した行動目標が達成されているか、並びに身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを評価する。面接または電話等を利用して行う。

イ.実施時期

対象者を抽出後、実施(通年)

ウ.案内方法

対象者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を発送します。

4.目標達成に向けての取り組み

以下は、第4期計画期間における目標達成に向けての取り組みを示したものです。

【特定健康診査】

事業分類	取り組み
特定健康診査未受診者対策	<ul style="list-style-type: none">・受診率の低い世代に対し健康意識を高めるため、新規受診、再受診、継続受診の促進を図る。・医師会との連携を図っていく。

【特定保健指導】

事業分類	取り組み
特定保健指導未利用者対策	<ul style="list-style-type: none">・特定保健指導対象者全員に利用勧奨を継続していく。・経年でフォローを行い、きめ細かい支援を行っていく。・医師会との連携を図っていく。

第5章 その他

1.計画の評価及び見直し

(1)評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導対象者の割合、特定保健指導の終了者率、特定保健指導の成果等について、客観的に評価を行います。

(2)計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとします。

2.計画の公表・周知

本計画は、広報紙、ホームページ等で周知するとともに、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

3.他の健診との連携

特定健康診査の実施に当たっては、庁内連携を図り、がん検診等他の関連する検(健)診と可能な限り連携して実施するものとします。

4.実施体制の確保及び実施方法の改善

(1)実施体制の確保

特定保健指導に係る人材育成・確保に努めます。

(2)特定保健指導の実施方法の改善

アウトカム評価の導入による「見える化」

特定保健指導対象者の行動変容に係る情報等を収集し、保険者がアウトカムの達成状況等を把握、要因の検討等を行い、対象者の特性に応じた質の高い保健指導を対象者に還元していく仕組みの構築が重要であるため、特定保健指導の「見える化」を推進します。

5.個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとします。

卷末資料

1.用語解説集

用語		説明
か行	クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。
	血糖	血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
さ行	ジェネリック医薬品	後発医薬品のこと。先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	人工透析	機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。
	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかがわかる。 また、1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。
	生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。
た行	中性脂肪	肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
は行	標準化死亡率	標準化死亡率は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡率が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合には死亡率が低いと判断される。
	腹囲	へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。
ま行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
や行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ら行	レセプト	診療報酬明細書の通称。

	用語	説明
A～Z	AST/ALT	AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。ALT(GPTともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。 数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。
	BMI	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。
	CKD	慢性腎臓病の英訳:Chronic Kidney Diseaseの略。
	DPC	DPC制度(DPC/PDPS)は、平成15年4月より、閣議決定に基づき、特定機能病院を対象に導入された、急性期入院医療を対象とする診断群分類に基づく1日あたり包括払い制度である。
	eGFR	腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れるかを示す値。数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。
	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	KDB	「国保データベース(KDB)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。

二宮町国民健康保険
第3期データヘルス計画及び
第4期特定健康診査等実施計画
令和6年度(2024年度)～令和11年度(2029年度)

令和6年(2024年)3月
二宮町

〒259-0196 二宮町二宮961番地
福祉保険課(☎0463-71-3190)
子育て・健康課(☎0463-71-7100)